

**市民まちづくりフォーラム  
～みんなのせんだい未来づくり 2019～**

**【報告書別紙】**

**令和元年 11 月**

# — 目次 —

## 1. 現在の取り組みに関するご意見 . . . . . p 2

テーマ1 杜の都のみどりの育み、未来への継承	. . .	p 3
テーマ2 脱炭素都市づくりの推進	. . .	p 5
テーマ3 多文化共生社会の形成	. . .	p 6
テーマ4 地域コミュニティの強化	. . .	p 8
テーマ5 子育て支援	. . .	p 10
テーマ6 学びの環境づくりによる生涯学習の推進	. . .	p 11
テーマ7 働きやすい環境づくり	. . .	p 12
テーマ8 活力と賑わいにあふれる都心づくり	. . .	p 14

## 2. 未来への提案 . . . . . p 16

テーマ1 杜の都のみどりの育み、未来への継承	. . .	p 17
テーマ2 脱炭素都市づくりの推進	. . .	p 19
テーマ3 多文化共生社会の形成	. . .	p 22
テーマ4 地域コミュニティの強化	. . .	p 25
テーマ5 子育て支援	. . .	p 28
テーマ6 学びの環境づくりによる生涯学習の推進	. . .	p 30
テーマ7 働きやすい環境づくり	. . .	p 35
テーマ8 活力と賑わいにあふれる都心づくり	. . .	p 41

# 1. 現在の取り組みに関するご意見

担当職員からの説明の後、「意見シート」にご記入いただいた意見を文字おこしたものです。

## ◆テーマ1 杜の都のみどりの育み、未来への継承

仙台の緑は美しくとても好きだがそれらがどのようにつくられ守られているのか知るきっかけになった。

「街の緑を自分たちで創ることができる」と知らない方が多いのではと感じた。

また、杜の都がそう呼ばれた理由も合わせて知るとよりその貴重さ・価値が伝わっていくと思う。

緑（杜）を増やす→人口との関係、マンションの増大

緑がいっぱいなのは、いいけれど、たくさんうえすぎて、見ためがわるくなってしまうこともあると思いました。

公園でのスポーツかしだしは、いいと思いました。飲み物はコーヒーだけを販売しているのか、他にもコーヒーがのめない人用にもあるのかが知りたい。

緑のほかに花などいろいろな色も入れたほうがもっと華やかになると感じました。

色々と取り組みがあるのはわかったが、

それがしっかりと市民に使用されていない、伝わっていないと説明を聞いて改めて感じた。

仙台市のHPに書いてあったかと思うものもあり情報発信が弱いと感じました。

子どもと年配の方以外の大人がもっと関われる取り組みが必要だと思います。

継続性のある計画なのかギモン。

- ・仙台市が他の都市と比較してどうなのかが情報として必要
- ・家の性能の進化により、家の回りに木を植えなくなった。
- ・土地ギリギリまで家を建てる人が多く垣根をつくらなくなった。

「杜の都」を象徴するものは、実は街路樹なの…。と思っていた。

でも、都市に街路樹が必要なら、それも充分「杜」なのだと考えられた。

かつての屋敷林が森ではなく、杜であるように。

市民の暮らし、営みのなかにある「杜」、こそ、仙台にふさわしい（らしい）杜になるのですね。

仙台市の緑化事業がいろいろと行われていることを知れて良かったです。

市によるいろいろな助成やイベントなどが行われていることを、もっとたくさんの人に知ってもらえる工夫が必要かと思いました。植木市、新緑祭などのイベントをもっと若い世代の人たちにも楽しんでもらえるような雰囲気になったら良いと思います。

他県と比べて、仙台市がどれ位緑があるのかという、他の参加者さんの意見が目にとまりました。細かくあらためて、色んな助成事業があることや、取り組みがあることを知り、このまま、さらに活動が拡大されたらよいと感じました。緑はたくさんあるが、きれいではないという意見もあり、植えるだけではなく、その後の手入れ、継続していく活動もとても大切だと思いました。

杜の都仙台について見つめ直す良い機会になった。杜の都のイメージが都心が強かったので仙台全体で杜の都仙台というイメージが広がっていくと良いなと感じました。色々な助成制度、イベントがあることが分かりました。仙台市の取り組みをより知ることのできる機会となりました。ありがとうございました。

- ・生垣づくり助成（→個人でできる、防災にもなる）、記念樹の交付（思い出づくりになる）は良い。
- ・「エリアマネジメント」に対する市としての取組みが不明。予算その他。

様々なイベントの開催や、市の助成、「杜の都」を守るための活動が多いことを初めて知りました。  
また、今ある「緑」を守ろうとする団体があることも初めて知りました。  
正直、これだけ多くのことを行っているのに、知名度が低すぎて残念に思います。  
「杜の都」を未来にも継承していくためにも、もっと知名度を増やすべきだと思いました。

西公園等でのスポーツは植物によくないのでと思いました。

- (1) 「緑の活動団体」の活動についての紹介はよかった。
- (2) 緑化計画・推進の助成制度についてはもっと広げるべき。
- (3) 「緑のイベント」についてはもっと広げるべき。

## ◆テーマ2 脱炭素都市づくりの推進

熱エネルギー有効活用支援補助制度の存在を初めて知った。

ケースバイケースで一般するのが極めて難しいのはわかるが、1つの事例としてでよいので、「リフォームで〇〇と××を行い、計△△万円かかり、補助が▽▽万円出た」などがわかればよいと感じた。

また、「(例として) △△万円かかるが、～～というメリット(環境保護以外【ex.】電気代節約)がある」ということを明示すればよいのではないか。環境問題という大きな話題ではピンとこないが、身近なメリットがあれば協力する人も増える可能性があるのではないだろうか。

また、目標や達成状況について「数字で」表して欲しい。そうでなければ評価し辛い。

取り組みは始まったばかりという印象ですが、

ゴミの分別ひとつとっても梅原市長の時代にはじめ、ようやく市民に根付いたところでしょうか。

将来の展望があって(示されて)こそ人は行動に移れると思うのですが…

地下鉄東西線が開業して公共交通機関の更なる利用を促していることは理解できるが、バスや地下鉄の運賃が値上がりして使用しづらいという感覚は否めない。イクスカのポイントチャージは非常にありがたい。70才以上の敬老乗車券もよい制度だと思う。

プラゴミについて、リユースのためにゴミの分別を盛んに取り上げているが、プラゴミをどのように再利用しているか周知されていない。ぜひ知りたい。

今後の緩和策、適応策の推進で事業活動からの排出抑制を目標としている。たしかに、事業者に的を絞った方が排出抑制の数値は高くなるかもしれない。だけど、やはり、市民一人一人が意識することが大事ではないか。一人一人の積み重ねが、排出抑制の数値が高くなるのではないか、市民一人一人に意識させるようなまちづくりを希望します。

・告知が甘い。あまり知られていない。

・行ったという保身的な行動だけで、実がない。

話を聞く限り、「残念ながら…目標に届いていない…」などという事が多々。

個人でやれる事は限りがある

事業活動の排出抑制について事業に対する物理的な内容などの助成などは考えているのか気になりました。

重点プロジェクトの目標に対しての結果がわからないと、評価が出来ないと思っています。

実施評価をすぐにみえるように、みえる化を進めてほしいです。

広報不足

もう少し企業側と仙台市の取り組みについて知りたい。

### ◆テーマ3 多文化共生社会の形成

転入時に市民便利帳がもらえるのはとても良いと思いました。  
私達も外国の文化に触れる機会が増えたら良いと思います。  
災害時は情報弱者になりがちだと思うので、そこを強化していってもらえたらと思いました。（避難所開設責任者向け研修など）

・地域単位での外国人とのつながりをつくる。  
サポートの手が届いていない人、届きづらい人（子育て中の主婦で日本語できず家にこもりがちなど）を支えるには地域のような小さい単位が良い。周辺住民の認識も大切。  
つながることで、仙台市に行っている制度をもっと広めることもできる。  
・日本人の認識が十分でない。

・SENTIA/MIA などのそしきがあって、よかったです。  
・どうやって外国人の leader/influencer を使えばいいか。  
・長く住みたい外国人は仕事がなかなか見つけれられない。  
・たいふう中にじょうほうをもらいましたが、なぜたいふう前じょうほうはっしんは少なくなかったか。

震災後、8年が経過した今でも、今回の台風対策に対する外国人支援の現状を振り返ると、何ら支援に対する取り組みが変わっていないのではないかと感じた。  
地域コミュニティ（外国人住居としての）地域住民との関わりを具体的にどうしていくか、どのようにしたらいいのか、  
もっと身近なところで、ていねいに考えていく必要があるのではないだろうか。

多文化共生センターでの相談言語を拡充し、対応言語を増やしたことは、外国人にとって心強いことだと思います。  
言語の壁を取り除くという面で、外国人に日本語学習の機会を提供することも大事ですが、行政サービスを外国人に対応させていくというアプローチも必要だと思いました。外国人が日本人のように生活するのではなく、外国人らしさも大切にしながら生活していけるシステムづくりができたと思います。

ある程度わかってはいたが、できることにも限界があってできる範囲を超えることは厳しいように感じた。  
人と文化の違いも許容できない国民が、  
他国の文化の違いを簡単に許容できるものではないから。  
できる人がなんとか声をあげていき、続けることができれば、  
認知度が上がれば、もっと生きやすくなる。  
自分が今まさに直面している現実だなと感じている。

言語とか、生活支援が主の事業になっている。

知りたいのは

- ①ベトナム、ネパール人が増えているのは何故か？その動きをどう捉えているのか？
  - ②語学学校、就労などで、各地で問題が起きているが、仙台ではどうなのか？
  - ③東アジアとの市民交流というが、具体的にどう進めるのか？
- 仙台での嫌韓、嫌中の状況をどう捉えているのか？

財政上とか、種々の制約条件がある中、当仙台市はかなり努力をされていると感じます。  
一方、活動の個々の中味については、（ほとんど実情を知っておりませんが）、多分、工夫改善が進めば、成果はもっと上がる部分があるようです。  
当サークルメンバーと話し合いをして、希望を持ちました。  
是非、テーマを絞って、現状と課題を具体的に検討する機会を作ってください。

メジャーな国の方々は現状維持でいい。  
問題は、言語的に、文化・風俗の知識的に、その他いろいろ、我々日本人にとって、マイナーな国から来日されている方々への対応だ。  
マイナーな国からのインバウンド、我々日本人それぞれが行政によって“てこ入れ”される必要がある。せめて、最低でも相手方の母語をお互いに向けてあいさつできるような人間としての最低のコミュニケーションを始めの一步として“多文化共生社会”を生きてければと。

外国人の日本の受け入れ側で、日本の文化・風習をくり返し教える場が必要であろう、又、日本の受け入れ側には小規模なところも多いと思うので、そのようなところを統合し、一つの組織にまとめ、市でもバックUPする様にできればいいと思う。（もうやっている？）

現時点では十分なとりくみだと思います。  
今後どのように人口が変動するかをふまえたとりくみは何か？を考えさせられました。

外国の方々の数が増えるのと行政の整備は、きりはない事だと思うが  
同時に、時間もかかる事だとも思う。  
増えてきたから、制度が整うのか、制度が整っているから増えるのかも  
コロンブスの卵的な事かとも感じる。くるまの車輪のようなものでどちらも重要？  
少しずつでも様々な人が暮らしやすい都市になるため、一步一步私自身も努力していきたい。

外国の方の支援は非常に手厚いと思いましたが、  
共に暮らす日本人の理解（外国人に対する）を深められる取り組みがまだ少ないように思いました。



## ◆テーマ4 地域コミュニティの強化

<p>ご紹介いただいたまちづくりプロジェクトの成功例については大変良い取り組みだと思いました。</p> <p>2つの事例に共通している点としては、①話し合いをする ②基盤がしっかりしている があると思いますが、どちらも（写真で見た印象になってしまいますが）20～40歳を対象としていない、あくまで子育て世代や高齢者を対象としている印象をうけましたので、今後はそういった世代を対象としたものがあると、より広い層が参加しやすくなるのではないかと思います。</p> <p>グループ内では町内会参加経験者の方が苦勞されている話を聞いて、もっとカジュアルに参加できる町内会のあり方を探るべきだと思います。</p>
<p>地域コミュニティのあり方、特に老人の件。【結いの会みたいのがほしい】</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の活動の中味がわからない。</li> <li>・個人情報のおつかいを明確にする必要あり</li> <li>・助け合いの気持ちを高める必要あり</li> </ul>
<p>仙台市でも何かしらの取り組みをやっていることは分かったのですが、都市部・中心地では中々プロジェクトが実施されづらいのではないかと…。</p> <p>町内会はあるけど、子ども、年配の方向けのイベントが多いが、20～50代の間に対してのイベントが少ないと思った。働いている人も参加しやすいイベントがあると良いと思った。</p>
<p>「話し合える事」はやはり重要だ。</p> <p>市民の主体的なニーズによる 主体的な活動や組織・体制づくりが大切。行政はそれを指導ではなくサポート・推進する仕事をするのがよい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会は行政の下うけ？</li> <li>・働きざかりの世代の参加</li> <li>・まずは話し合うことが大事→独断で話し合えない町内会もある</li> <li>・ゴミステーションのそうじだけでも町内会ごとにちがいがあ</li> </ul>
<p>前向きで大変良いと思います。</p> <p>町内会の必要性を市政でアピールした方が良いです。</p>
<p>一人では生きられない となり近所町内会が行政と とにかく身近な本のゴミ集積のこと 市政使い行事を含めて 一人で何も出来ない できるだけ体力の続くかぎり色々な事にかかわってゆきたい</p>
<p>大変な時代。</p> <p>自己中心の人が増えてきている内で、町内会組織を作り育てていくつらさを感じます。</p> <p>参加型が良いが、考え方が十人十色でまとまるまで苦勞する。</p>
<p>町内会長さんは町内会員さんとの話し合いを最重点にしてスケジュールをつくっていただきたいものです。</p> <p>「閉じこもり」会員対策も必要テーマです。</p>

<p>「地域・コミュニティ活動強化事業」はすばらしい活動なのでぜひ継続して欲しい。町内会は身近な地域の問題解決に重要な役割を果しており必要な組織である。しかし、地域のまちづくり等を計画する組織としては不適切である。やはり地区協議会、中学校区毎のまちづくり協議会等 制度上、体制作りが必要である。</p>
<p>地域の居場所づくりの強化 地域のボランティアの評価について</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事している方は、活動がむずかしいと思うが、公務員・会社員が、参加しやすい、役所、会社の応援体制が必要。</li> <li>・ 町内会の必要性を、幅広く知らせることが大切。（テーマ資料7「ふるさと支援担当」の方がた）</li> </ul>
<p>回覧板とか、今のやり方を見直していくことも必要か。 資料P3のように、町内会不要、ムダ、リスクとされている。それを超えるメリット（リスクテイクしてでもと思えるぐらいの）とは？ 定期的に、継続的に、オープンな（出入り自由）場があると参加しやすいのかも。ー仕事、子育てなどで参加しづらい人、声・手をあげられない人はどうしたら良いかというのはたしかに…</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報が大事。広く市民にPRすべき、取り組みについて。</li> <li>・ 地域の町内会の代表者の高齢化が課題。</li> </ul> <p>民生委員や町内会長になると「あて職」でいろいろな事が任せられる、負担になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕事場の理解がないと地域の行事に参加は困難。</li> <li>・ 地域の意見をきく集まりや話し合いの場があるといい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域コミュニティを担う人達の負担の分担が必要と感じています。</li> <li>・ 若い世代に町内会の役割を丁寧に説明する必要があると思います。</li> <li>・ 年100回の結カフェの活動は、すごいと思います。どんな内容がそのようにみんなを集めるのか知りたいです。</li> </ul>
<p>色々な地域の活動紹介があったが、実際、仕事をしている家庭の方々は、加わるのは難しいと思う。 社会全体で、地域活動に寛容な雰囲気になるといいなあ～。</p>
<p>①前もって課題をしめせばもう少し中味のあるものになったろう。 ②町内会によってよくやっている所のことをもう少し知りたい。</p>

## ◆テーマ5 子育て支援

皆さんのお話を伺ってびっくりです。御苦労されてる方が多いんですね。今日の話合いの内容が少しでも取り入れてもらえたら良いですね。孫バテと言う言葉が流行しているようですが私も老体にムチうって少しでも役にたちたいと思います。

対策があっても地域によっての課題はバラバラで必ず解決するとは限らない。その地域その地域の対策、対応が必要だと思う。

前よりは、だんだん良くなっていると思う。でも、課題は山づみ。子どもを産み、育てることは本当に大変な事（無償の労働ともいえる）なので。核家族で小人数で育てていくのが、大変だと、自分が子育てしてきて、実感した。どうすれば、出生率を上げることができるのか、いろんな面から考えて対策しないと、と思う。

各区毎に大幅なニーズのズレが見え、各区毎の対応を明確にしていく必要があると感じる。仙台市の取り組みに関しては解決に向けて努力されていると思いますが、難しい所ではあるが事業主が理解を示す取り組み方も含めて考えていく必要があると感じた。

- ・もう少し、子供が遊べるような場所がほしい。
- ・支援制度をかくじゅうしてほしい。
- ・産後ケアの拡大も視野に入れて施策すべきだと思う。
- ・シングルマザー・シングルファザー向けの補助も施策に入れるべき（今後確実に増加していくと思います）

市の対策は、時宜にかなっている。

保護者の希望と保育所の場所等のマッチングが必要。

高齢者の出番を作れないだろうか（見守り等）

仙台市は施設（図書館など）が少ないなど、少し遅れているということがわかった。

無償化になったとしても課題はまだまだあるということもわかった。

保育所の無償化についても意見が沢山出ました。

その前に保育士の待遇改善とか考えてほしいと思います。

お金のかからない切れ目のない子ども支援方を充実させてほしい。

そのための一つの方法として図書館でやれる可能性を引き出してほしい。

## ◆テーマ6 学びの環境づくりによる生涯学習の推進

社会学級は貴重な試みです。

是非続けて欲しいと考えます。運営については、工夫が必要なのところもあると思います。校長先生、市民センターの所長の先生の意見をまとめつつ、進めて戴ければと思います。

### 1. 自分自身の反省点

社会学級・SMMAの現在までの取組を今回初めて知った。今後は出来る範囲で市民の一人としての活動を心がけたい。

2. 活動の底辺にある「仙台カラー」について理解を深めたい。若干表面的な気がする。

3. ホームページで気軽に見られる工夫をお願いしたい。

とても良いと思います。しかし、“学ぼう”というだけではあいまいになってしまいそうなので、大人へのオムニバスの講義だとしても、何かしら目的意識を持った人が集まりやすくなるとりくみ、もたせるとりくみがあるとより良いかなと思いました。

SMMAで、ミュージアムがこう演会をしているのは、よいと思った。インターネットの普及により、映像音楽、よく編集された動画による情報提きょうが家で受けられるようになった。ミュージアムにわざわざ足をこぶことで、インターネットでは得られない体験を。

<社会学級>身近な、地域コミュニティとして大切。とは言え、受講者さんが固定しすぎてあたらしい人たちの流れやテーマに対応できているのか？たぶんできているのでしょうかと思います。でも、何かあったときもこのコミュニティがいきるツナガリになると。

SMMAのことを知らなかったのが正直なところです。

活動の内容自体は仙台を知るきっかけになると良いものだと思うので、もっと宣伝活動を行って有名にすれば良いのになと思いました。

多種類の生涯教育関連機関との連携が良くない。

テーマが自分で決められ、しかも学資が支給されるのは良い。

ミュージアム・アライアンスに市、県、大学等の図書館が組込まれていないのは何故、入れるべきです。

自分の興味を持ったことを、自由に学習できる場が用意されているのはとても良いことだと思う。年齢関係なく、好きなことを学んだりそれに関して意見を交わしあえるのは市民にとって、また市にとっても影響が大きい。しかし、知名度が低いと活用のしようもないので、それは工夫して解決すべきだと思う。

認知度を上げることが必要。

SMMAにしる社会学級にしる、もっと宣伝した方がいい。新規にもやさしく。

やはり、活動自体の認知度が低いかなと思いました。もう少し、認知度を高める努力が必要だと思います。年令的にも、様々なテーマを考えて、参加しやすいスタイルが必要となってくると思います。SMMAは仙台だけでなく、宮城全体として考えていく事も必要かと思っています。

プロセスはしっかりとしているのにも関わらず、広告の出し方があまり上手ではないと感じた。しっかりとした、ターゲット分析を行うべきだ。

## ◆テーマ7 働きやすい環境づくり

取り組みがあっても、それを外に出す（発信する）のが足りない。知らなければ使えないし、そのしくみをつくっただけで満足しているように感じる。取り組みじたいも足りないものがある。仙台で働く魅力が今のままではないと感じてしまう。

いま仙台で抱えている課題は他の東北5県が20年以上前から抱えていた課題。それに気付いていたはず。

当然、東京も数年後、数十年後に同じ課題に直面する。

東京や他の都市へ行こうとする人達への施策は無意味。

東京への流入は問題ない。

問題なのはじゅん環にいないコト。

そこの施策が必要。

魅力的な企業が少ない。事業内容がささらない。

今起きてる問題の解決策ではない、付け焼刃 具体的な目標や数値の決定等した方が産休代替の位置が中途半端。働き方改革の意味と意図が不明瞭すぎる。

様々な業種に対してアプローチの仕方が直接的すぎる。

- ・18万は少ない奨学金支援事業、東京の方は良い、仙台に魅力がない。
- ・事業がヒットしない、みんな分かっていない→アピールがへた 対象がぼやっとしている
- ・行きたい人は東京に行ってしまう。 これを見て残るか？
- ・東京は女性がもう働いている→☆東京はとても魅力がある！！東京は取りくみがこまかい
- ・パワーがある企業が人をひっぱる
- ・仙台は税金高い？！
- ・産休代替のスタッフに、もっと手当てをつけるべき！マンパワーが不足 産休に入れない。

課題へのアプローチは適切なのか

パフォーマンスになっていないか という意見が出て、考えさせられた。

本気で解決するには、挑戦的な施策が必要と感じた。

- ・他県からの入学生は仙台で学び、その知識を地元で生かしたい
- ・東京で知識を生かしたいという考えもある
- ・大学と共同で、学生の仙台での就職に対する考え方の追跡調査も必要ではないか

取り組みがあっても、それを外に出す（発信する）のが足りない。知らなければ使えないし、そのしくみをつくっただけで満足しているように感じる。取り組みじたいも足りないものがある。仙台で働く魅力が今のままではないと感じてしまう。

話し合いに意味ない 理由 ※時間なさすぎる 自分の話を受け入れた町造り本当にするのか？

話し合いは新しい刺激となり関心が変わるきっかけになります。

- ①企業支援することの雇用
- ②HP、広報、企業に配布強化
- ③食べていける仕事があるか？
- ④子世代への早めの進路、開拓
- ⑤生きがいやりがい求める、創れる仕事作りなど話し合えました。

<p>周知されていないように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に、もっと企業側への採用支援についての情報を広めてほしい。ハロワ等で連携できないものか？</li> <li>・女性の支援は、【本当に女性自身が】リーダーになりたいのか？施策ばかりが先走っている印象を受ける。</li> </ul> <p>就業の後押しは必要かと思うが、無理な後押しは不要。</p>
<p>P5 施設 1 について、仙台市奨学金支援制度の額が低く、かつ中小企業のみなので企業の幅を広げてほしい。</p> <p>また、イメージ的に、中小企業だと良いイメージとは感じにくいので、仕事の影響力、保障等が心配に感じる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の取り組みは、若手（新卒）、女性がターゲットで、社会人男性や障がい者はターゲットではなさそう。この層にも取り組みが必要。</li> <li>・移住支援はあるが、移住後の支援（生活情報や働き口）がもっと必要。</li> <li>・仙台は働く魅力が低い？</li> </ul>
<p>仙台市のとりくみはあまり知られていないのでは。</p>
<p>この取り組みが全ての企業にきちんと反映されているかが分からない。</p>
<p>正社員の働き口がまだまだ少なすぎる。</p> <p>人手不足とは言うものの事務職の有効求人倍率は 0.4 程度。</p> <p>専門的な資格や能力がなければ仕事につくどころか面接も受けられない。</p> <p>これでは人材が流出してもおかしくない。</p> <p>（実際私の友人は大学卒業後全員仙台を出て行った）</p>
<p>あまり知られていない</p> <p>活用されていないように思える。</p>

## ◆テーマ8 活力と賑わいにあふれる都心づくり

<ul style="list-style-type: none"><li>・仙台駅付近のみが発展している感じがある→都心部の中で、より均等に人を分散できるようにしたらよいと思う。</li><li>・周知されていないことが思ったより多い…</li><li>・「対象」がどこにあるのか、少し分かりづらい</li><li>・今残っている人口（特に学生）を外へ出さない取り組みが必要→何故、外へ出たがるのか？</li><li>・土地や建物の有効活用、静かな場所の改善に取り組んでいることは素晴らしいと思います。</li></ul>
定禅寺通りのいろいろな取組みは、楽しいと思います。市民広場や他の場所でのイベントの告知をもっとした方がいいのでは？イベントが終わってから新聞等で知ることが多いので。
使える場はたくさんあるので、活用できたらおもしろい。
さくらの跡地案→ 1階…道路との境目を無くしたオープンなスペース等 2階以降…大阪・東京にある学生主体（従業員等全員が学生）で運営されている就活等に関するカフェ。宮城の歴史をわかりやすく広く知ることのできる事柄を展示。説明したエリア。 若者をターゲットにした学校帰りに立ち寄りやすいカフェ（図書館に重きを置いたスペース）自習スペース etc…
いろんな視点があっっておもしろいです。仙台市はいろんなことをやっているんだなと感心しました。
市民の意見吸い上げは有効である。
支店経済の解決策についてが明瞭とは言えない
<ul style="list-style-type: none"><li>・現在行われている取り組みは必要だと思うが、まだその取り組みが市民全体に広まっていないと感じた。</li><li>・世代によって感じ方や必要な支援、情報の入手手段等も違うのでそれぞれの世代に合った対策が必要だと思った。</li><li>・もっと若者の意見に耳を傾けてほしい。</li></ul>
勾当台、定禅寺通のイベント等、市民活動について又、町の将来について考えている。 若者が集まる町づくりについて積極的に検討して頂きたい。
審議会を作って、「役所+学識者」での作業は計画通りと思われるが、市民が参画したり、意見交換して『総合計画書』に反映しているとは余り感じられない。 もっと本格的なディスカッション・討論の場（市民参画）を望む。
色々手探りでも前に進んでいると感じた。 ただ認知されているのか？広報の工夫が必要だと思うし、興味をもってもらえれば参加人数もふえて活動の推進力につながると思う。 何をめざしているのか（具体的なカタチで）がわかりやすくなると思う。
様々な取り組みに関して、PRが足りないと感じた。魅力ある取り組みだとしても、それに賛同する人々や企業が少なければ効果も薄いと思う。
将来をになう若い人達の意見を多く聞くべき。 20～30年後の自分達の住む町である。 特に高校生達の意見を。

仙台市役所を中心としてにぎわいを創出することが課題。現状だと、仙台駅周辺の方がにぎわっている。他県の方は、仙台駅周辺で用事が済むため、中心部に人を集める政策が必要。

- ・周知が必要か
- ・期間限定のイベントに頼ったにぎわいは息切れする？
- ・交通の利便性に難あり

他の方の意見を聞いて確かにと考えたことですが、お試しの取り組みがいつどこでやられてるか知らなかった。知ってたら友だちと行っていたかもしれないと思った。杜の都ならではの自然を活かした取り組みはいいと思う。

<中心部の固定資産税を安くする+相続税を安くする>ことで、古くから営んでいる店舗の減少を防止したいです。又、中心部に“市場的な”空間を望みます。金沢の“にぎわい”も参考にすると良いかと…。町人文化を掘り起こし、横丁的空間も残してほしいです。“花座<落語寄席>”の様な施設に支援するべきと考えます。

水（広瀬川）の空間と分れていると思います。水路もあると良いかもしれません。市役所の低層階を市民に開放すると良いかも。

現在のとりくみについて、あまり知らなかったのでHPなどでゆっくりみてみたいと思った。

都市の中心部でも緑がある素晴らしい景観があるのでもっと活用すべきだと思う。住宅地で運動することが難しい環境なので駅前にも作ってもよいと思った。



## 2. 未来への提案

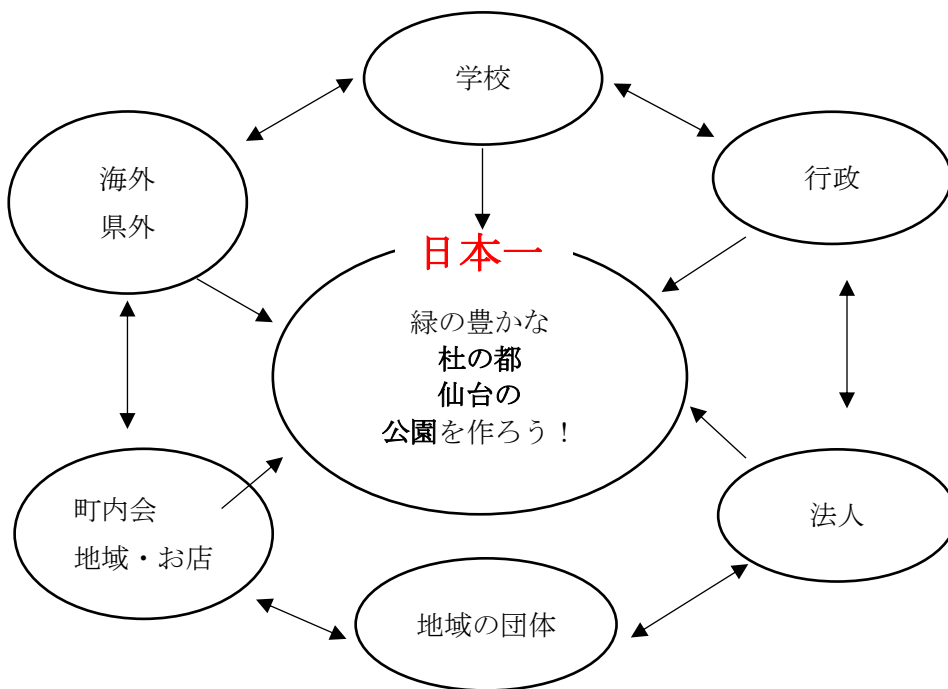
これからの取り組みについて話し合い、テーブルごとにまとめた模造紙を文字おこしたものです。

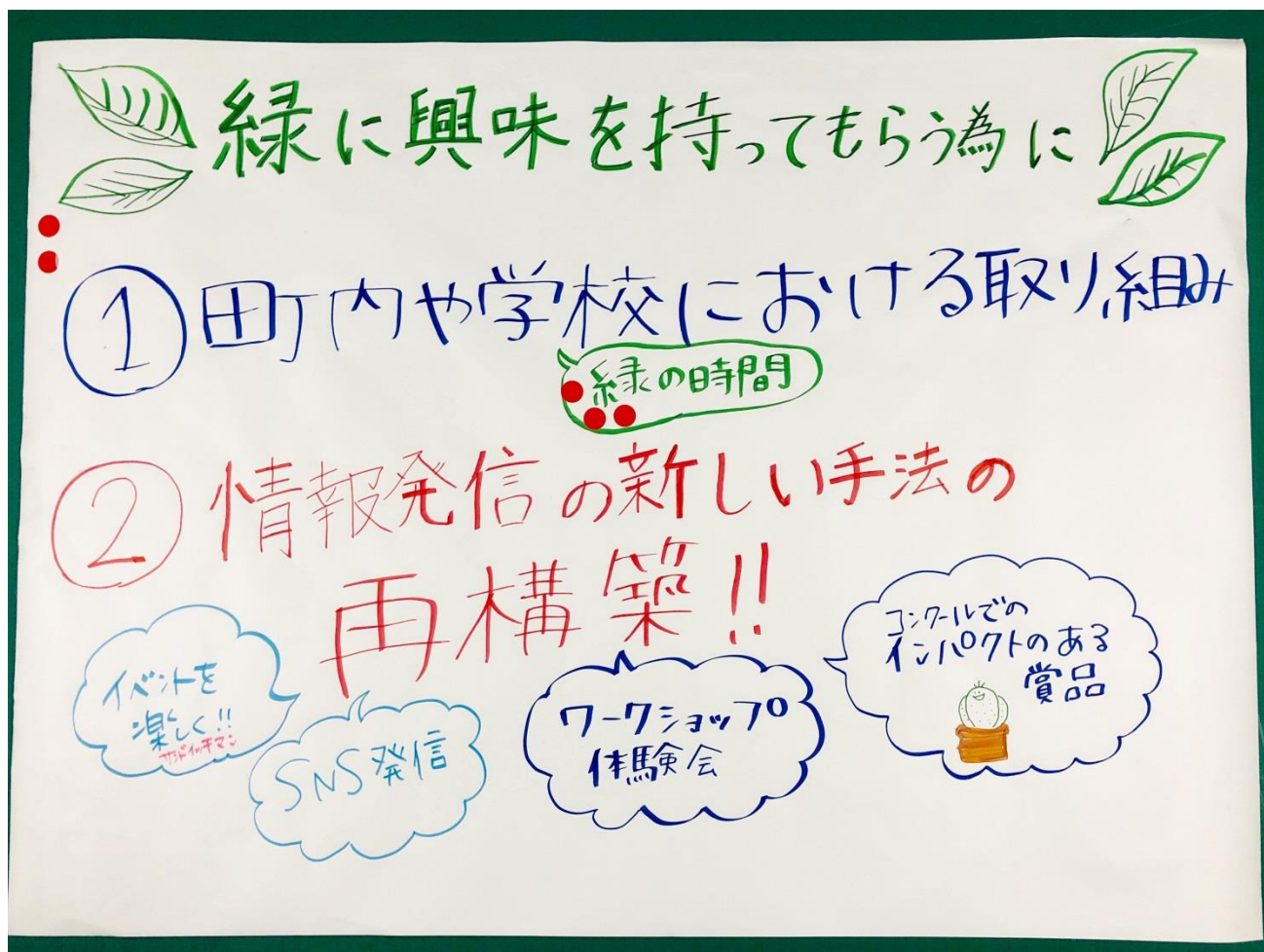
◆テーマ1 杜の都のみどりの育み、未来への継承

(テーブル1)



●みんなの緑の先生





● 緑に興味を持ってもらう為に

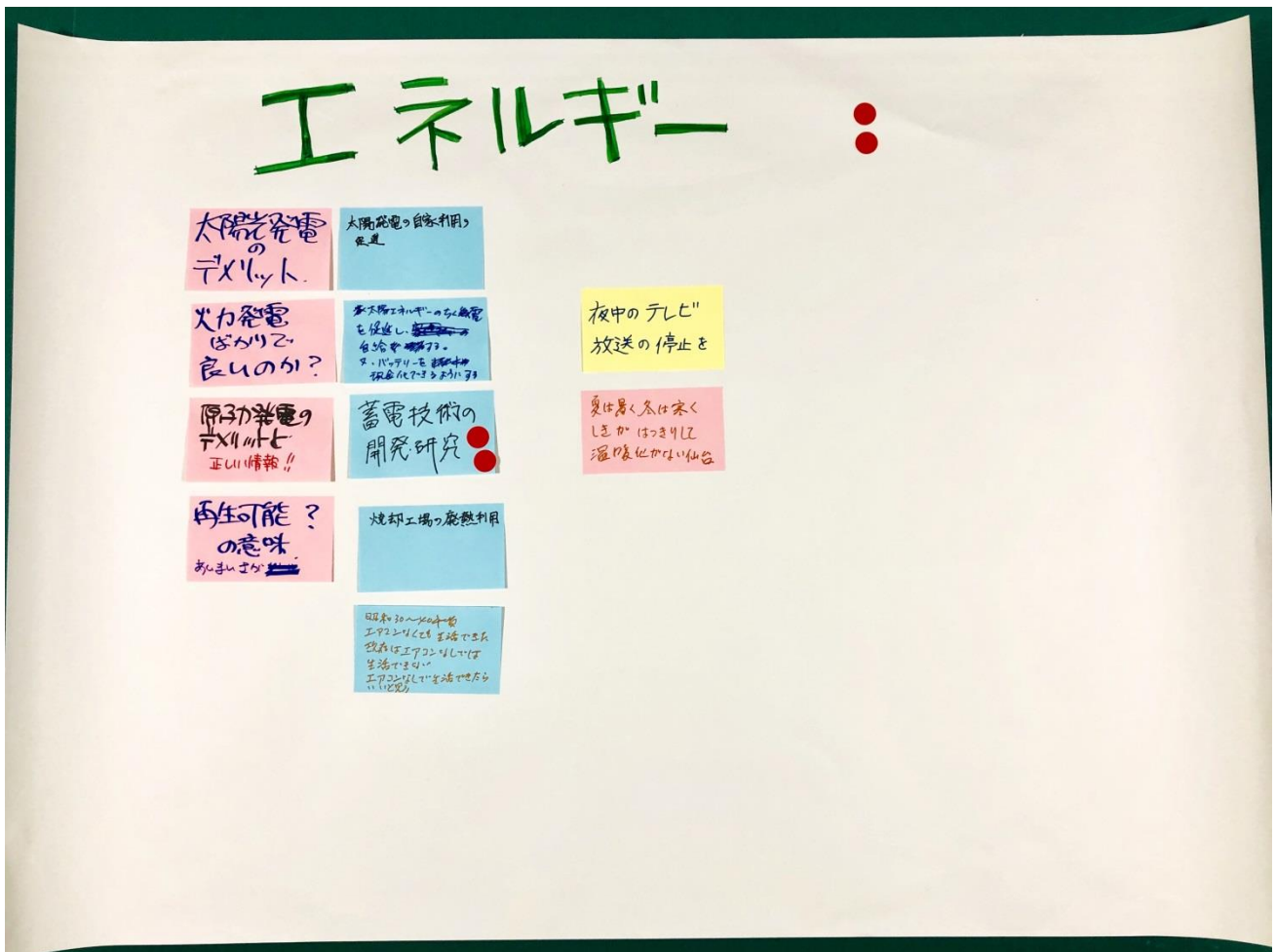
① 町内や学校における取り組み

緑の時間

② 情報発信の新しい手法の再構築!!

- ・ イベントを楽しく (サンドウィッチマン)
- ・ SNS 発信
- ・ ワークショップ・体験会
- ・ コンクールでのインパクトある賞品

## ◆テーマ2 脱炭素都市づくりの推進



### ●エネルギー

- ・ 太陽光発電のデメリット
- ・ 火力発電ばかりで良いのか?
- ・ 原子力発電のデメリットと正しい情報!!
- ・ 再生可能? の意味 あいまいさが
- ・ 太陽光発電の自家利用、促進
- ・ 太陽エネルギーのちく電を促進し、自給する。又、バッテリーを現金化できるようにする
- ・ 蓄電技術の開発・研究
- ・ 焼却工場の廃熱利用
- ・ 昭和 30~40 年頃エアコンなくても生活できた 現在はエアコンなしでは生活できない エアコンなしで生活できたらいいと思う
- ・ 夜中のテレビ放送の停止を
- ・ 夏は暑く冬は寒く四季がはっきりして温暖化がない仙台

# 暮らし 節約

メリットだけに  
目を向けず  
デメリットも見  
受け入れる

不便な生活  
受け入れる。

環境浄化植物  
「サンパチェンス」  
の推進

パーク  
アンド  
ライド  
市内の交通制限

(開発促進を  
止めるデメリット  
を受け入れるか?)

「もくれん」の木  
の活用 (枝)

車をなるべく  
使わない。

電気がない  
生活はありえない

「しゅくい」  
推進

自転車道を  
整備する。

夜間電力の  
利用 (地上波)  
テレビは夜の放送は  
やめてもらう

グローバルに仙台市  
としての赤道付近  
への国々への呼びかけ  
(姉妹都市)

仙台市としての  
海水温度の  
取り組み

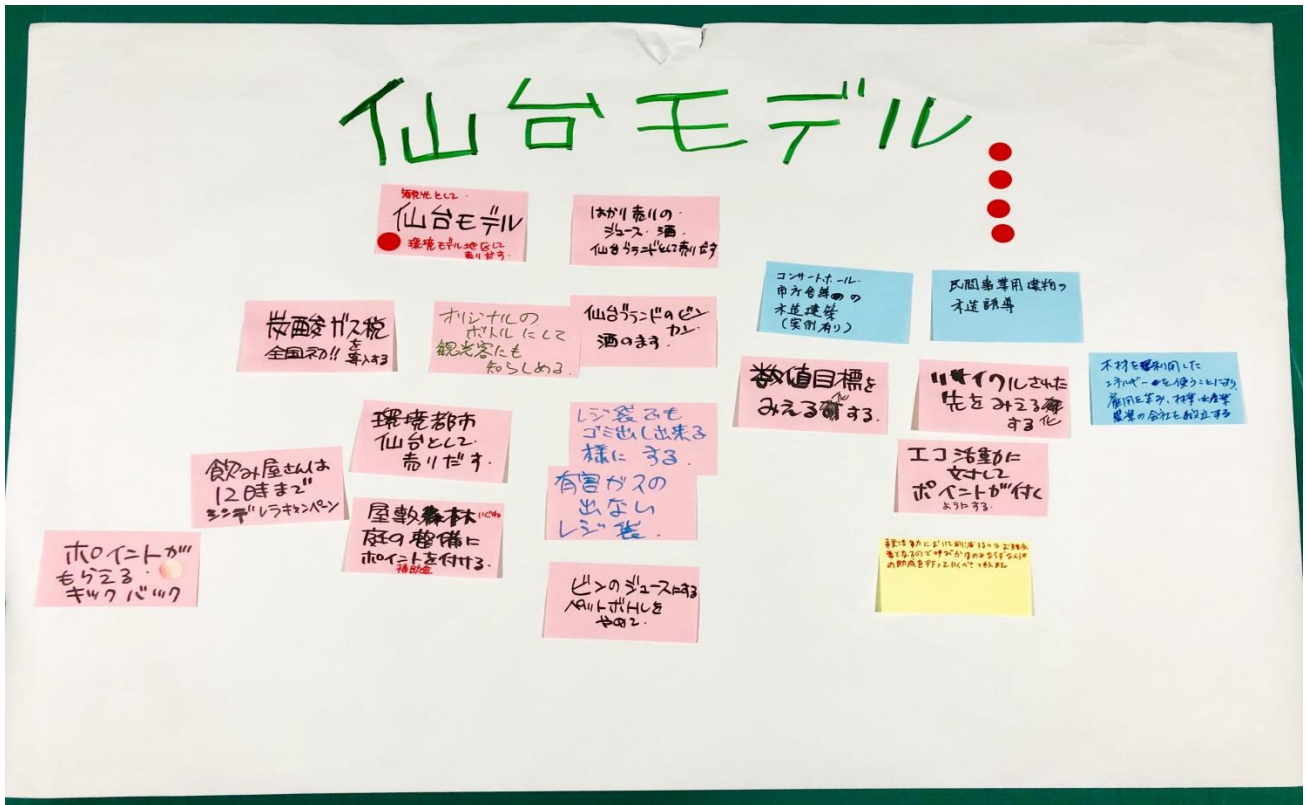
公共交通を  
充実させる  
地下鉄 バス

夜間電力の  
有効活用

## ●暮らし 節約

- ・メリットだけに目を向けずデメリットも見た上で受け入れる
- ・環境浄化植物「サンパチェンス」の推進
- ・「もくれん」の木の活用 (枝)
- ・「しゅくい」推進
- ・グローバルに仙台市としての赤道付近への国々への呼びかけ (姉妹都市)
- ・仙台市としての海水温度の取り組み
- ・パークアンドライド 市内の交通制限
- ・車をなるべく使わない
- ・自転車道を整備する
- ・公共交通を充実させる 地下鉄 バス
- ・不便な生活を受け入れる
- ・開発促進を止めるデメリットを受け入れられるか?
- ・電気がない生活はありえない
- ・夜間電力の利用 (地上波) テレビは夜の放送はやめてもらう
- ・夜間電力の有効活用

# 仙台モデル

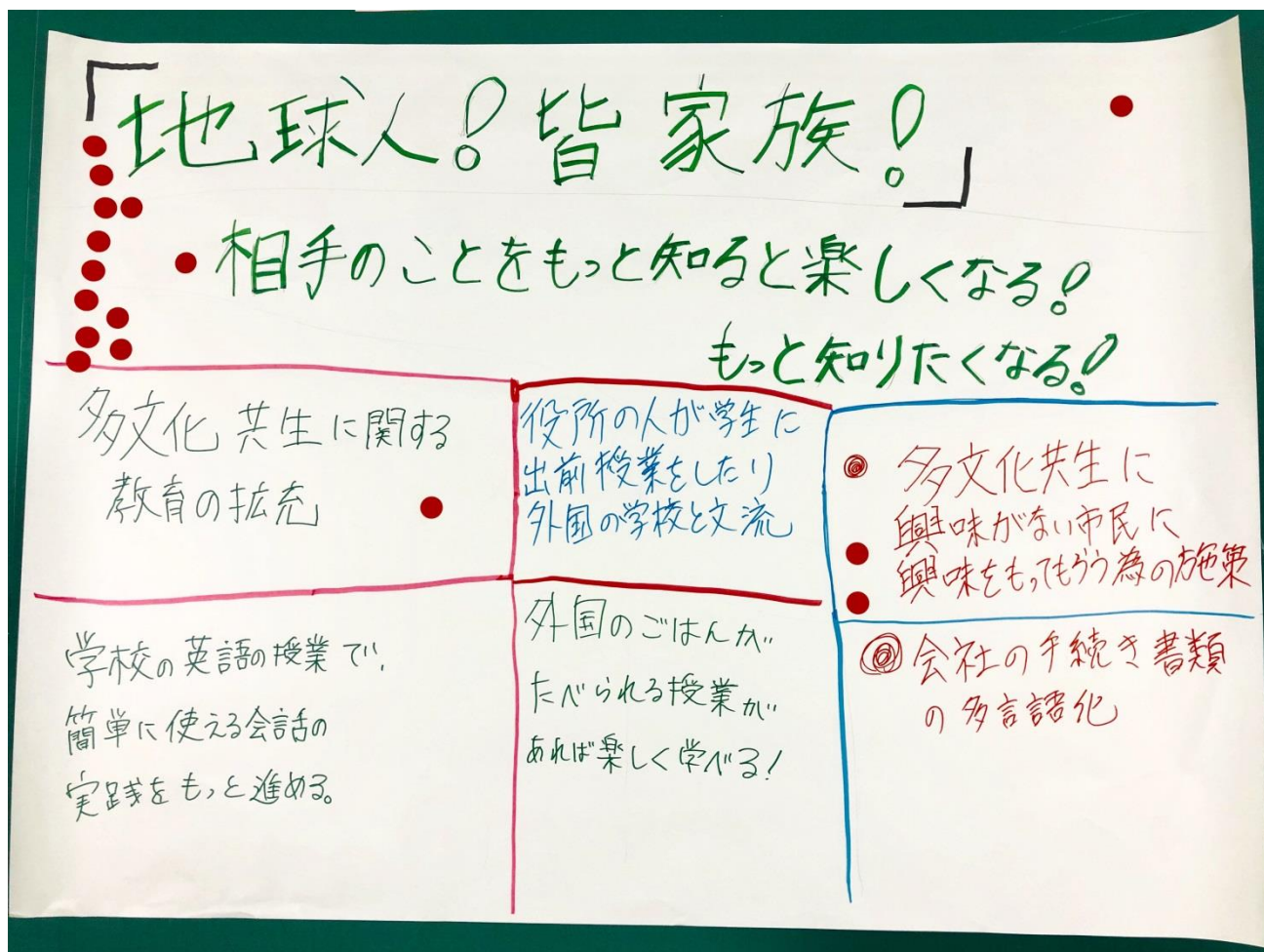


## ●仙台モデル

- ・仙台モデル 観光として環境モデル地区として売り出す
- ・はかり売りのジュース、酒、仙台ブランドとして売り出す
- ・仙台ブランドのビン、カン、酒のみ
- ・オリジナルのボトルにして観光客にも知らしめる
- ・全国初！！炭酸ガス税を導入する
- ・環境都市仙台として売り出す
- ・屋敷林 庭の整備にポイントをつける 補助金
- ・飲み屋さんには 12時まで シンデレラキャンペーン
- ・ポイントがもらえるキックバック
- ・レジ袋でもゴミ出し出来る様にする
- ・有害ガスの出ないレジ袋
- ・ビンのジュースにする ペットボトルをやめて
- ・コンサートホール、市庁舎等の木造建築（実例有り）
- ・民間事業用建物の木造誘導
- ・数値目標をみえる化する
- ・リサイクルされた先をみえる化する
- ・木材を利用したエネルギーを使うことにより、雇用を生み、林業、水産業、農業の会社を設立する
- ・エコ活動に対してポイントが付くようにする
- ・事業活動において削減するにはお金を必要となるので呼びかけのみならずなんらかの助成を行っていくべきと考えます。

◆テーマ3 多文化共生社会の形成

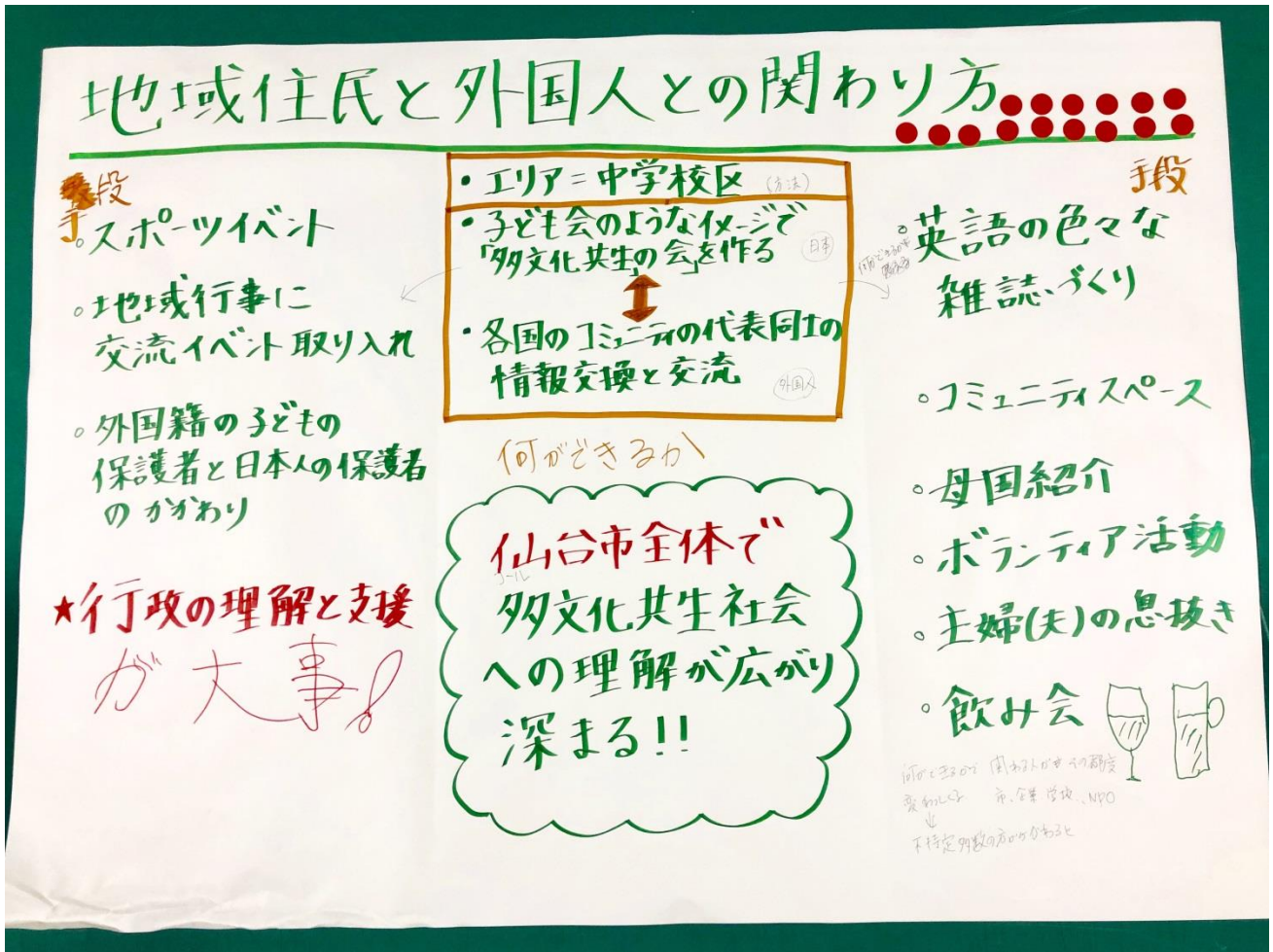
(テーブル1)



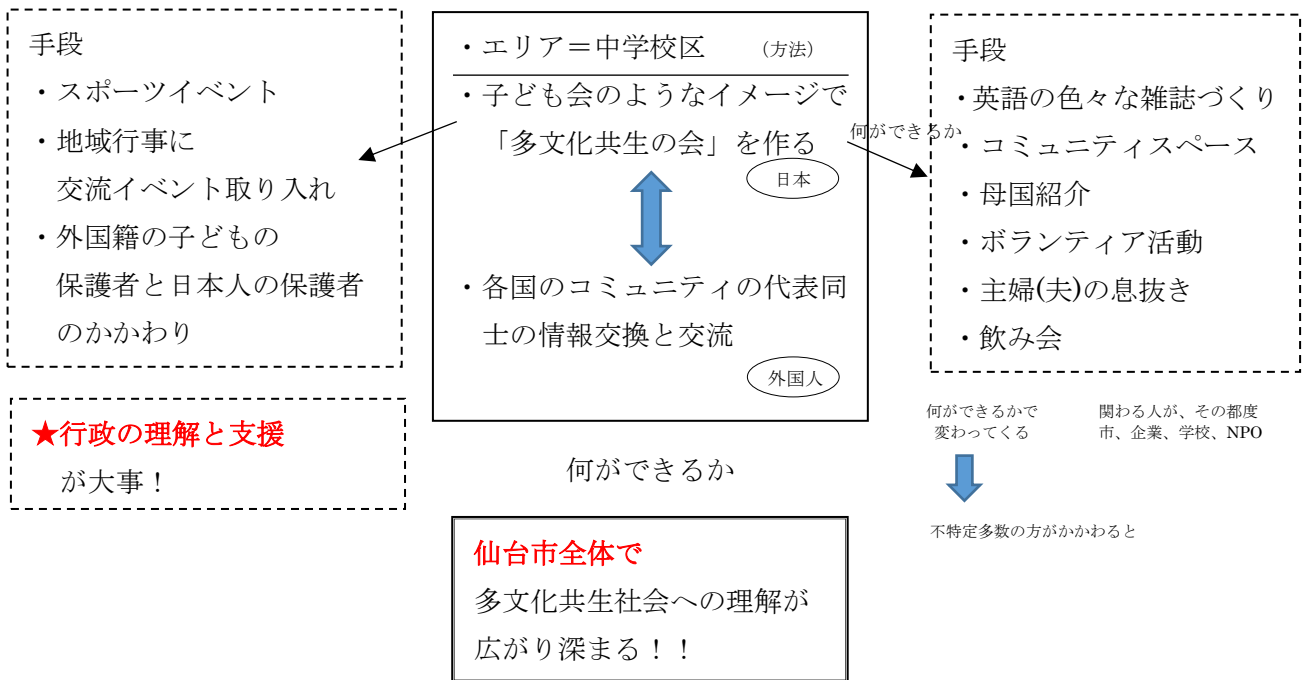
●「地球人！皆家族！」

相手のことをもっと知ると楽しくなる！もっと知りたくなる！

多文化共生に関する教育の拡充	役所の人や学生に出前授業をしたり外国の学校と交流	多文化共生に興味がない市民に興味をもってもらう為の施策
学校の英語の授業で、簡単に使える会話の実践をもっと進める。	外国のごはんがたべられる授業があれば楽しく学べる！	会社の手続き書類の多言語化



●地域住民と外国人との関わり方





(テーブル3)

● ◎外国人の孤立化防止  
(主に子供)

孤立化の現状把握が前提

主体	行政	教育	企業・市民・その他
取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人の生活状況や情報を発信する</li><li>外国人同士のつながりが生まれる機会をつくる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>異文化交流の機会を設ける</li><li>外国人向けの就学・就労支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人労働者が地域になじむことができるよう取り図らう</li></ul>

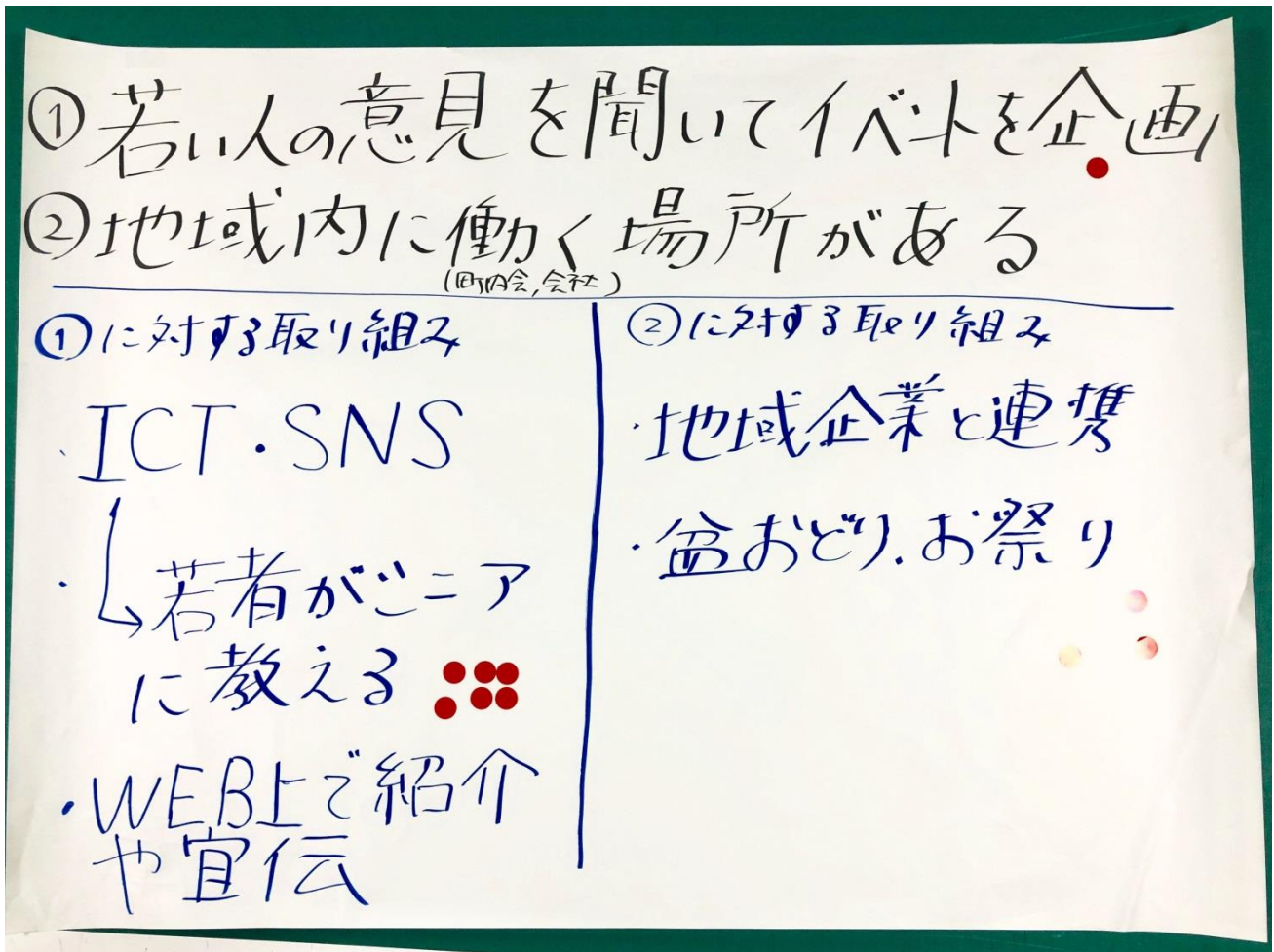
●外国人の孤立化防止 (主に子ども)

孤立化の現状把握が前提

主体	行政	教育	企業・市民・その他
取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人の生活状況や情報を発信する</li><li>外国人同士のつながりが生まれる機会をつくる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>異文化交流の機会を設ける</li><li>外国人向けの就学・就労支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人労働者が地域になじむことができるよう取り図らう</li></ul>

◆テーマ4 地域コミュニティの強化

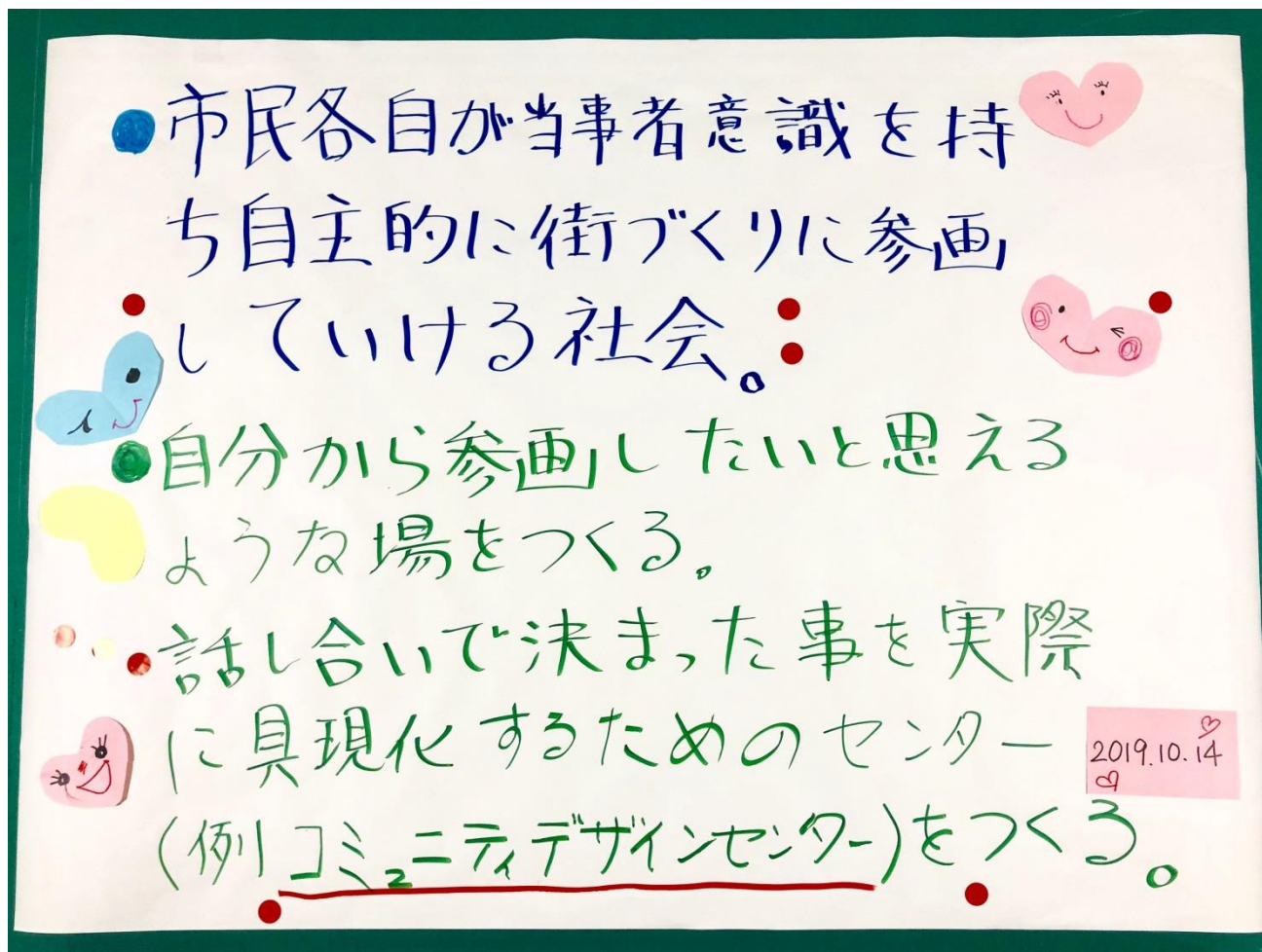
(テーブル1)



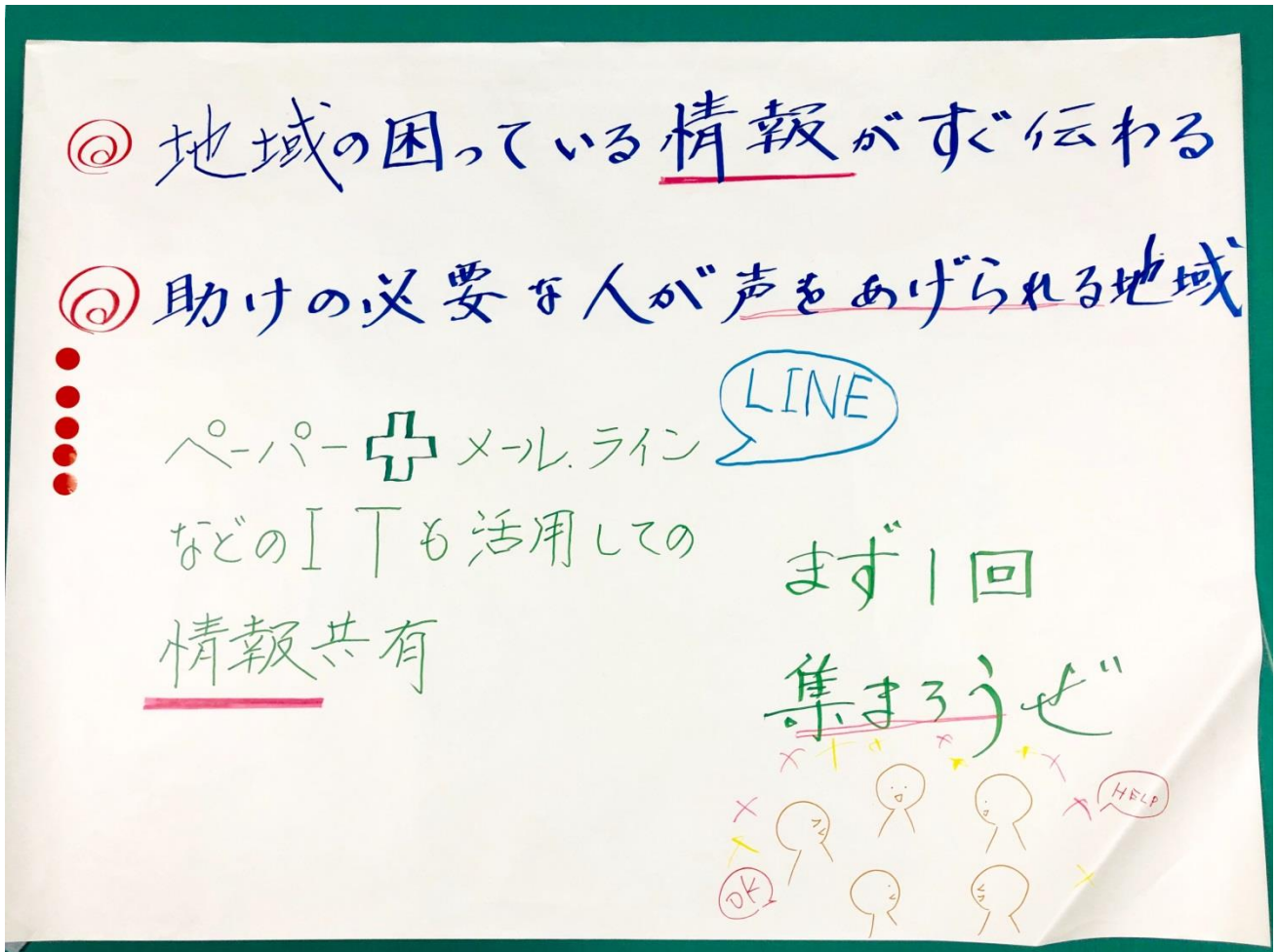
① 若い人の意見を聞いてイベントを企画

② 地域内に働く（町内会、会社）場所がある

①に対する取り組み	②に対する取り組み
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・SNS</li> <li>若者がシニアに教える</li> <li>・ WEB 上で紹介や宣伝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域企業と連携</li> <li>・ 盆おどり、お祭り</li> </ul>



- 市民各自が当事者意識を持ち自主的に街づくりに参画していける社会。
- 自分から参画したいと思えるような場をつくる。
- 話し合いで決まった事を実際に具現化するためのセンター（例 コミュニティデザインセンター）をつくる。



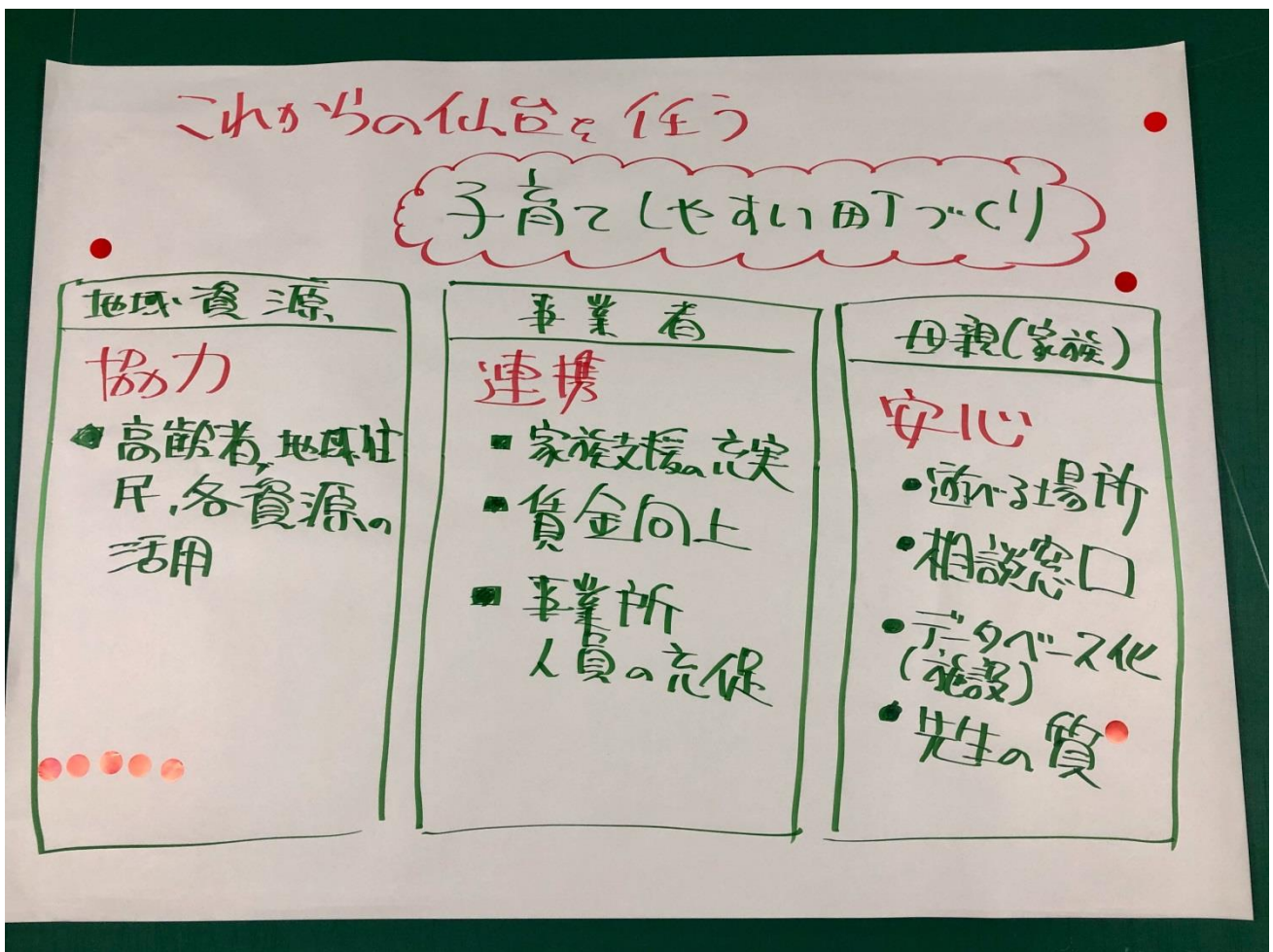
- 地域の困っている情報がすぐに伝わる
- 助けの必要な人が声をあげられる地域

ペーパー + メール、ライン  
などのITも活用しての  
情報共有

まず1回  
集まろうぜ

◆テーマ5 子育て支援

(テーブル1)

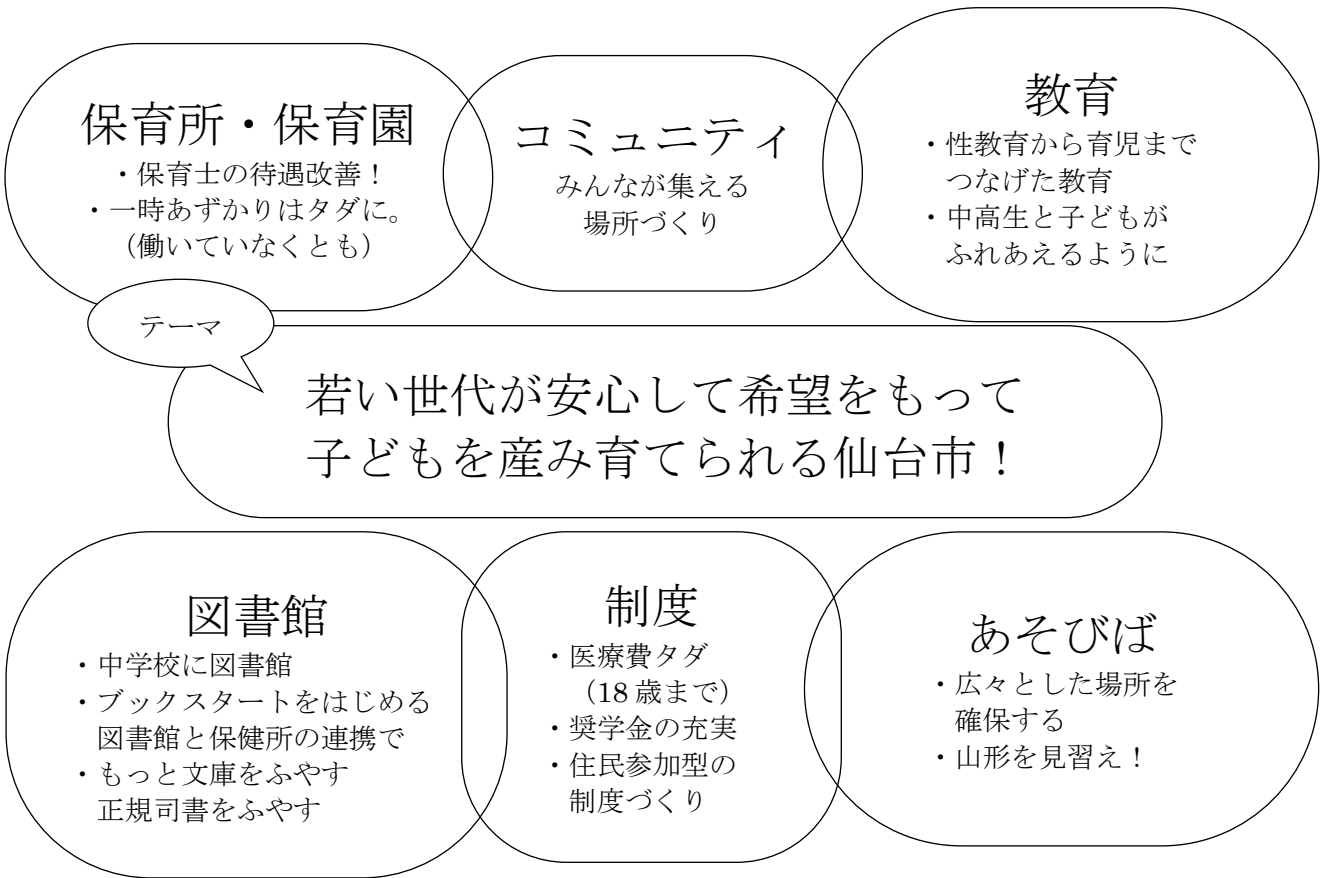
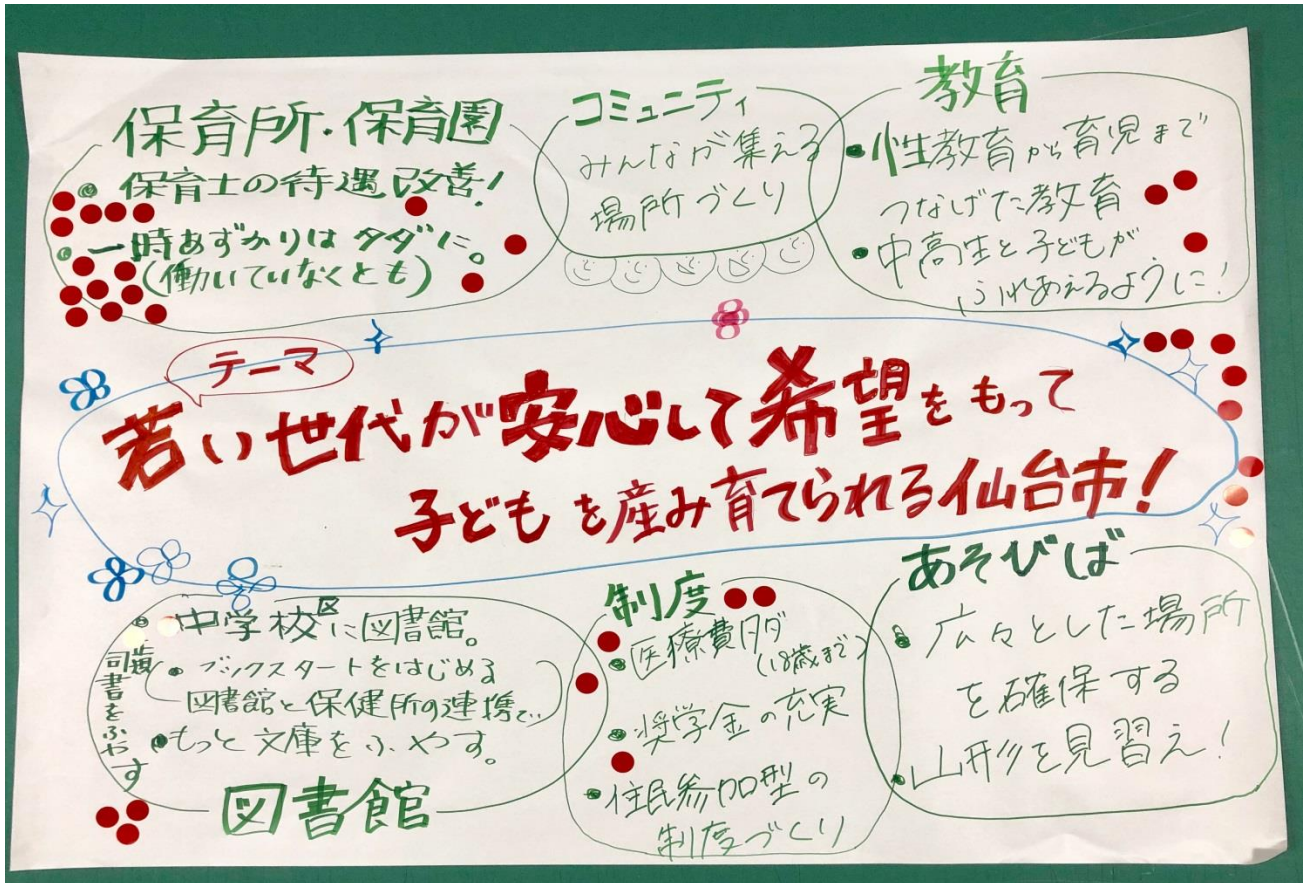


●これからの仙台を担う 子育てしやすい町づくり

地域資源
協力 ・高齢者、地域住民、各資源の活用

事業者
連携 ・家族支援の充実 ・賃金向上 ・事業所人員の充促

母親(家族)
安心 ・遊べる場所 ・相談窓口 ・データベース化(施設) ・先生の質





若い世代 →横のつながりはあるけど、縦は少ない…

例) ・一回もあったことないけど話すし…

・LGBT もフツーにいるし…

- ・親の考えにとらわれがち…自分が何をやりたいのか
- ・学習の仕方変わってくるのに親の倫理感に捉われる…
- ・ダイレクトにつながる外国人とのつながり
- ・世代での価値観を理解する
- ・自分の意志を大切に

### ●こんなことできたら

- ・年齢や性別が違う人たちで集まって一つのテーマ (?) について意見を言い合う場を作る
- ・幅広い年齢層が気軽に交流できる場
- ・いろいろなことに興味を持てる機会
  - SMMA の施設をつくり、定期的にイベントを行う
  - SMMA 参加館内で意見交換会をひらく
- ・震災のことを若い世代 (高校生→小学生) に伝える場を作る
- ・仙台のことを市民がもっと知る
- ・LGBT を交えた会話をしてみたい。人生観等
- ・LGBT 知識を得る (親として何ができる?)  
応援するように、色々な考え方
- ・若い人との “ケーキ” 作り 外国人との “ケーキ” 作り  
(ケーキ=伝統料理) “TV グレーテルの”
- ・日々是好日  
知る<<好き<<楽しむ
- ・自分の意志、欲望 (いい意味で) を大切に
- ・専門的な体験
- ・全年代に拡大
- ・体育の時間を導入→健康寿命の引き上げ
- ・肥満対策
- ・生涯教育におけるリアルとバーチャルの役割の分担と共調  
大学や教員がより積極的に市民と交流をもてたらいいのでは (少子化により大学も岐路に立っている)

### ●気になること

- ・外出するときの車 (手・足) 送迎車があると嬉しい
- ・参加しやすい回数 (週何か) と時間帯
- ・生涯学習を、今のテクノロジーを使ってけいもうする活動があるのか
- ・インターネットの普及により、学びを得られるチャンスは飛躍的に増加したけど、変化は少ない。なにがつかえになっているのか
- ・どう生きればいいのか?



- ・ イベントに参加する人に対しては入場料を安くする
- ・ 食育・栄養など身近な学びも必要
- ・ 自由度がある社会

↓

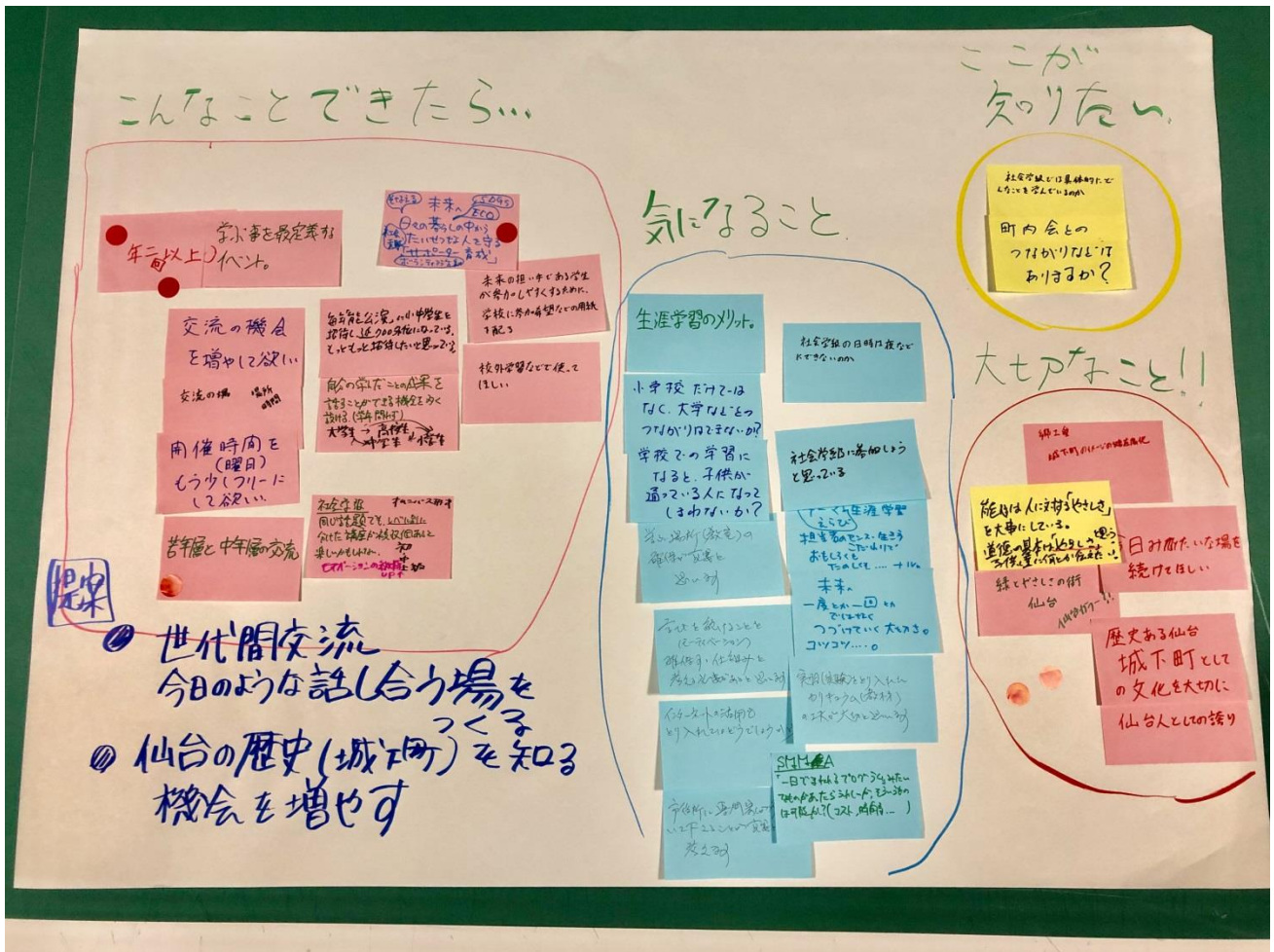
好きに生きる…若者どれだけいるか？

- ・ 生涯教育における SNS や近年はオンラインサロンの可能性や役割

#### ●ここが知りたい

- ・ 最新テクノロジーを使った生涯学習の理想的な形とは？
- ・ 生涯学習の学びのテーマとして、人気があるものは何なのか
- ・ 申込方法・参加方法を知りたい
- ・ 小中高校生と社会人の参加率
- ・ 生涯学習／教育は文部科学省でどう取り扱われているのか？認知は（コントロール／自由）！

(テーブル2)



●提案

- ・世代間交流 今日のような話し合う場をつくる
- ・仙台の歴史（城下町）を知る機会を増やす

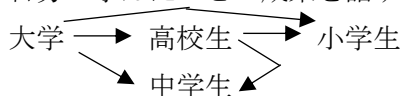
●大切にしたい事

- ・郷土愛  
城下町のイメージの健在強化
- ・能は人に対する「やさしさ」を大事にしている。道徳の基本は「やさしさ」と思う。  
子供達に何とか伝えたい。
- ・今日みたいな場を続けてほしい
- ・緑とやさしさの街 仙台 仙台カラー！！
- ・歴史ある仙台 城下町としての文化を大切に 仙台人としての誇り

●こんなことできたら

- ・年二回以上 学ぶ事を最定義するイベント
- ・交流の機会を増やして欲しい 交流の場 場所 時間
- ・開催時間（曜日）をもう少しフリーにして欲しい

- ・若年層と中年層の交流
- ・未来へ（そなえる）日々の暮らし（SDGs、ECO）の中から大切なひとを守る（社会貢献）（ボランティア活動）「サポーター育成」
- ・毎年「能公演」に小中学生を招待し、延べ700名位になっている。もっともっと招待したいと思っている。
- ・自分の学んだことの成果を話すことができる機会を多く設ける（学年問わず）



- ・社会学級（オムニバス形式）  
同じ話題でもレベル別に分けた講座が複数個（初級・中級・上級）あると楽しいかもしれない。  
モチベーションの維持・UP↑
- ・未来の担い手である学生が参加しやすくするために、学校に参加希望の用紙を配る
- ・校外学習などで使ってほしい

### ●気になること

- ・生涯学習のメリット
- ・小学校だけではなく、大学などとのつながりはできないか？  
学校での学習になると、子供が通っている人になってしまわないか？
- ・学ぶ場所（教室）の確保が必要と思います。
- ・学びを続けることを（モチベーション）確保する仕組みを考える必要があると思います。
- ・インターネットの活用もとり入れてはどうでしょうか？
- ・市役所に専門家が多数いて下さることが重要と考えます
- ・社会学級の日時は夜などにできないのか
- ・社会学級に参加しようと思っている。
- ・（テーマ選び）生涯学習 担当者のセンス・生き方・こだわりでおもしろくもたのしくも…ナル。
- ・未来へ 一度とか一回ではなく、つづけていく大切さ。コツコツ…。
- ・実習（実験）をとり入れたカリキュラム（教材）の工夫が大切だと思います。
- ・SMMA「一日でまわれるプログラム」みたいなものがあつたらうれしいが、  
そういうものは可能か？（コスト、時間など…）

### ●ここが知りたい

- ・社会学級では具体的にどんなことを学んでいるのか
- ・町内会とのつながりはありますか？

◆テーマ7 働きやすい環境づくり

(テーブル1)

# 1 就職支援

① 大学と企業の連携

② 学校へのインターン支援

# 2. 研修支援

① 女性の社会進出には **男性**への啓発が必要

② 社内外研修への支援

# 3. 企業向け支援

① 魅力ある企業の誘致

② 仙台で起業する人、学生への支援

③ 中小企業支援 (求人情報などの発信)

# 4. 個人向け支援

① 県外の求職者への情報発信

② キャリアコンサルティングの拡充

# 5. 環境

① 障害を持っている方にとって働きやすい環境づくり  
(バリアフリー化)

② メンター制度

## 1. 就職支援

- ① 大学と企業の連携
- ② 学校へのインターン支援

## 2. 研修支援

- ① 女性の社会進出には男性への啓発が必要
- ② 社内外研修への支援

## 3. 企業向け支援

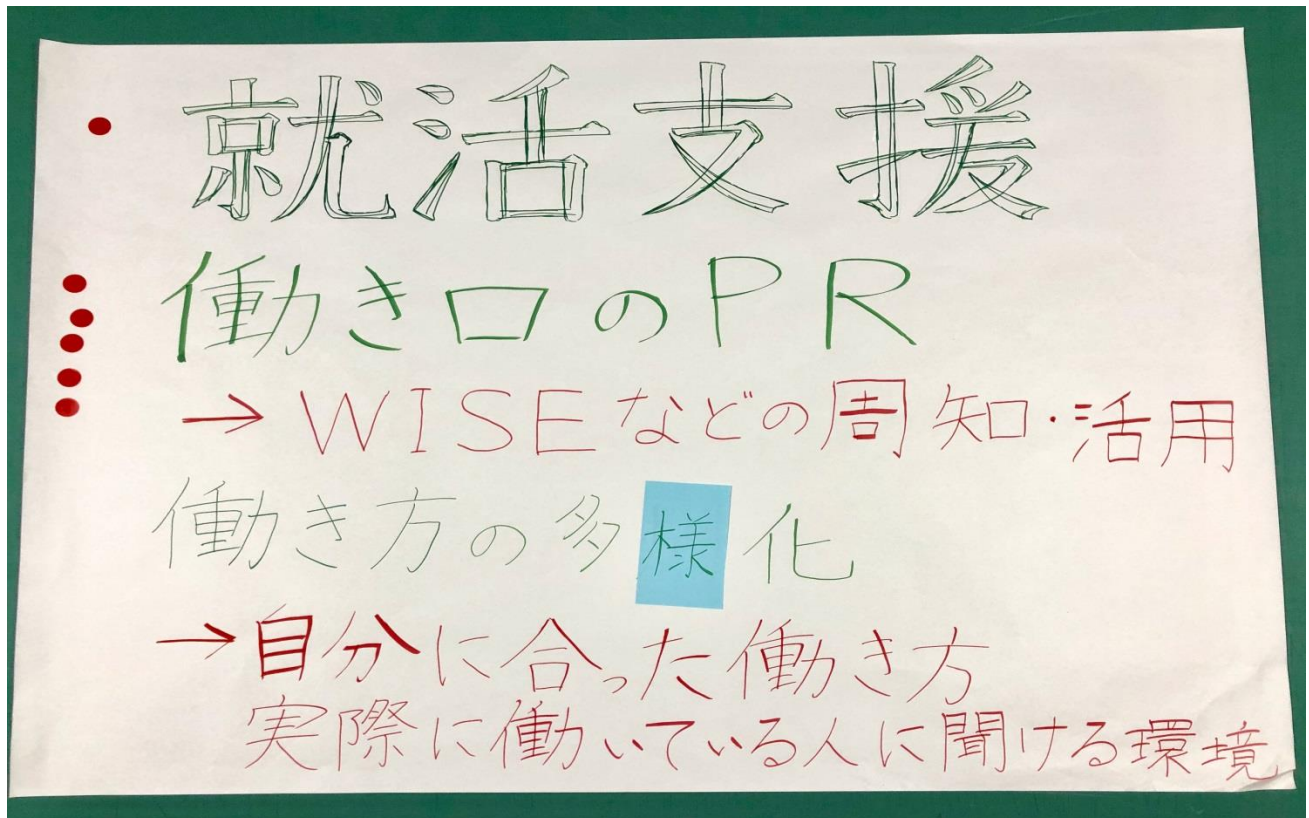
- ① 魅力ある企業の誘致
- ② 仙台で起業する人、学生への支援
- ③ 中小企業支援（求人情報などの発信）

## 4. 個人向け支援

- ① 県外の求職者への情報発信
- ② キャリアコンサルティングの拡充

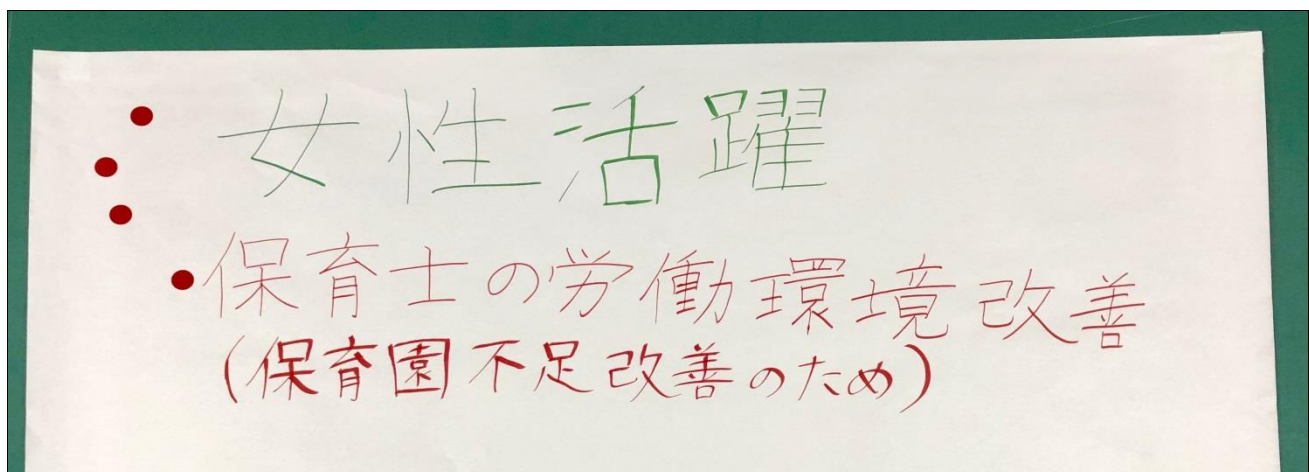
## 5. 環境

- ① 障害を持っている方にとって働きやすい環境づくり（バリアフリー他）
- ② メンター制度



●就活支援

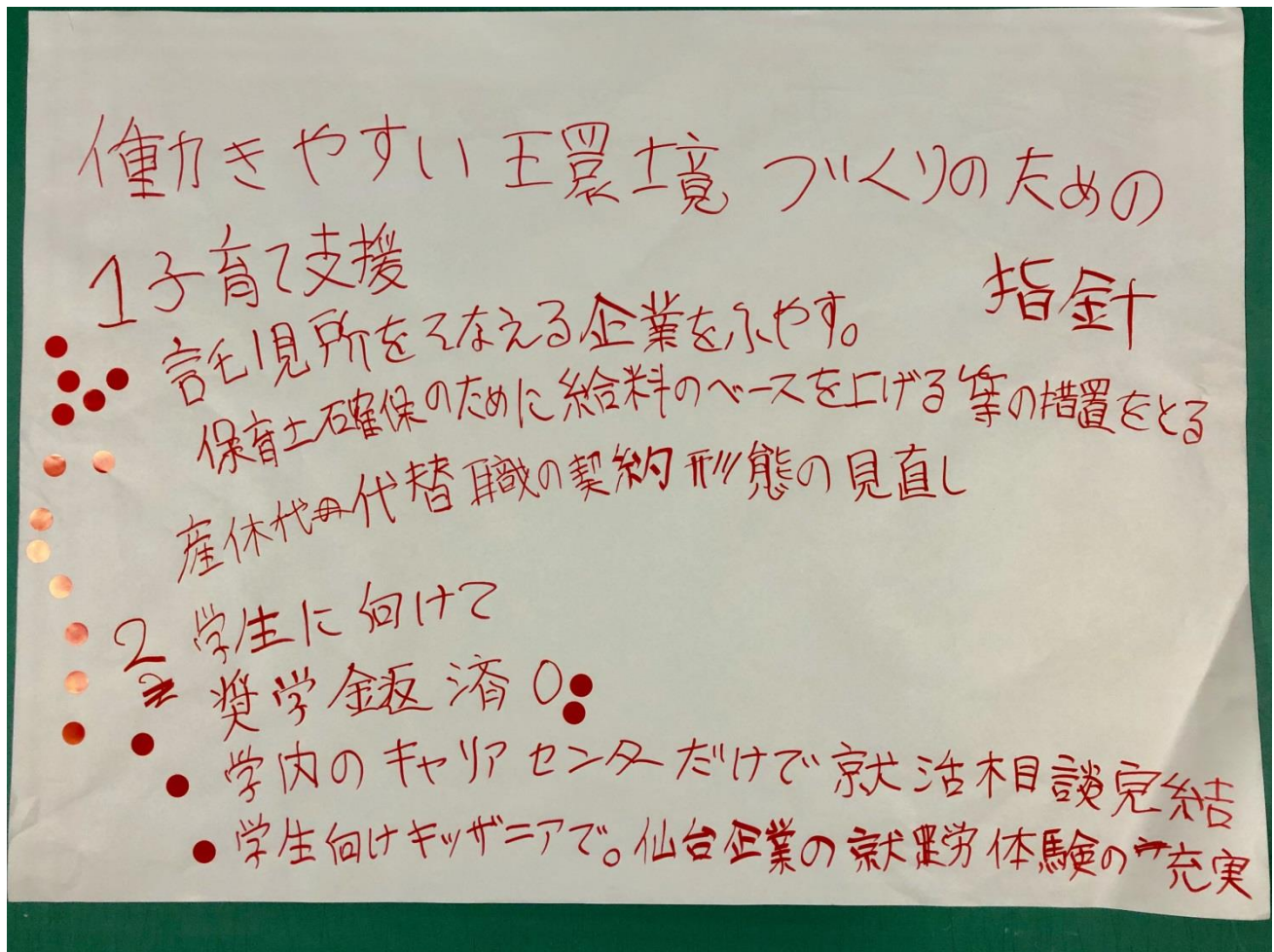
- ・働き口のPR  
→WISEなどの周知・活用
- ・働き方の多様化  
→自分に合った働き方、実際に働いている人に聞ける環境



●女性活躍

- ・保育士の労働環境改善 (保育園不足改善のため)

(テーブル3)



●働きやすい環境づくりのための指針

1. 子育て支援

- ・ 託児所をそなえる企業を増やす。
- ・ 保育士確保のために給料のベースを上げる等の措置をとる
- ・ 産休代替職の契約形態の見直し

2. 学生に向けて

- ・ 奨学金返済0
- ・ 学内のキャリアセンターだけで就活相談完結
- ・ 学生向けキッザニアで。仙台企業の就労体験の充実

### 3. 高齢者・障がい者

- ・情報発信の機会を増やす
- ・働く職場を増やし、雇用率の高い所へ助成金

### 4. 企業に対して

- ・仙台の拠点新設などの企業誘致
- ・安心して長く働ける環境づくり  
(人間関係、給与、研修制度)
- ・ハラスメント対策、男女格差を無くす環境作り

### 3. 高齢者 障がい者

- ・情報発信の機会を増やす
- ・働く職場を増やし、雇用率の高い所へ助成金

### 4. 企業に対して

- ・仙台の拠点新設などの企業誘致
- ・安心して長く働ける環境づくり (人間関係、給与、研修制度)
- ・ハラスメント対策、男女格差を無くす環境作り



## 5. その他

- ・起業しようとしている人への支援充実
- 交通インフラの充実 (ダイヤを増やす、運賃を下げる)
- JR東北と連携し、首都圏から通勤圏に
- ・仙台市を豊田市のように専門性に特化
- このような機会をもっと増やして欲しい!

## 5. その他

- ・起業しようとしている人への支援充実
- ・交通インフラの充実 (ダイヤを増やす、運賃を下げる)
- ・JR東北と連携し、首都圏から通勤圏に
- ・仙台市を豊田市のように専門性に特化
- ・このような機会をもっと増やして欲しい!



●「さくら野跡地を、駅降りてスグのシンボルに！」

「仙台駅前にしかない物」

●**娯楽**

- ・町中に公園
- ・狭い居酒屋
- ・遊園地
- ・町中に屋内総合運動場
- ・ビルの屋上
- ・景色がながめられる
- ・ごはん食べる
- ・ポートランドの取り組み（1Fの活用例）
- ・1階が入りやすいオープンスペース
- ・勉強に集中できる場所
- ・憩いの場

●**観光**

- ・観光客用のごはん
- ・屋台村
- ・外国語のお店
- ・観光の拠点
- ・歴史が分かる何か
- ・案内センター
  - ① 行政 ② 民間 ③ ボランティア ④ 市民
- ・国際交流
- ・仙台独自のテナントを入れる
- ・仙台らしさがあるもの
  - 七夕、緑化の充実、地酒、楽天

●**施設・設備**

- ・ペDESTリアンデッキが仙台らしさ  
(緑のデッキ)
- ・地下道 さくら野に繋がる地下道
- ・近隣施設との連携
- ・入りやすい入口  
(地下道から入りやすい)
- ・東二番丁地下道と仙石線青葉通駅の直結
- ・仙台駅～球場間の通り
- ・アクロス福岡 (写真参考)

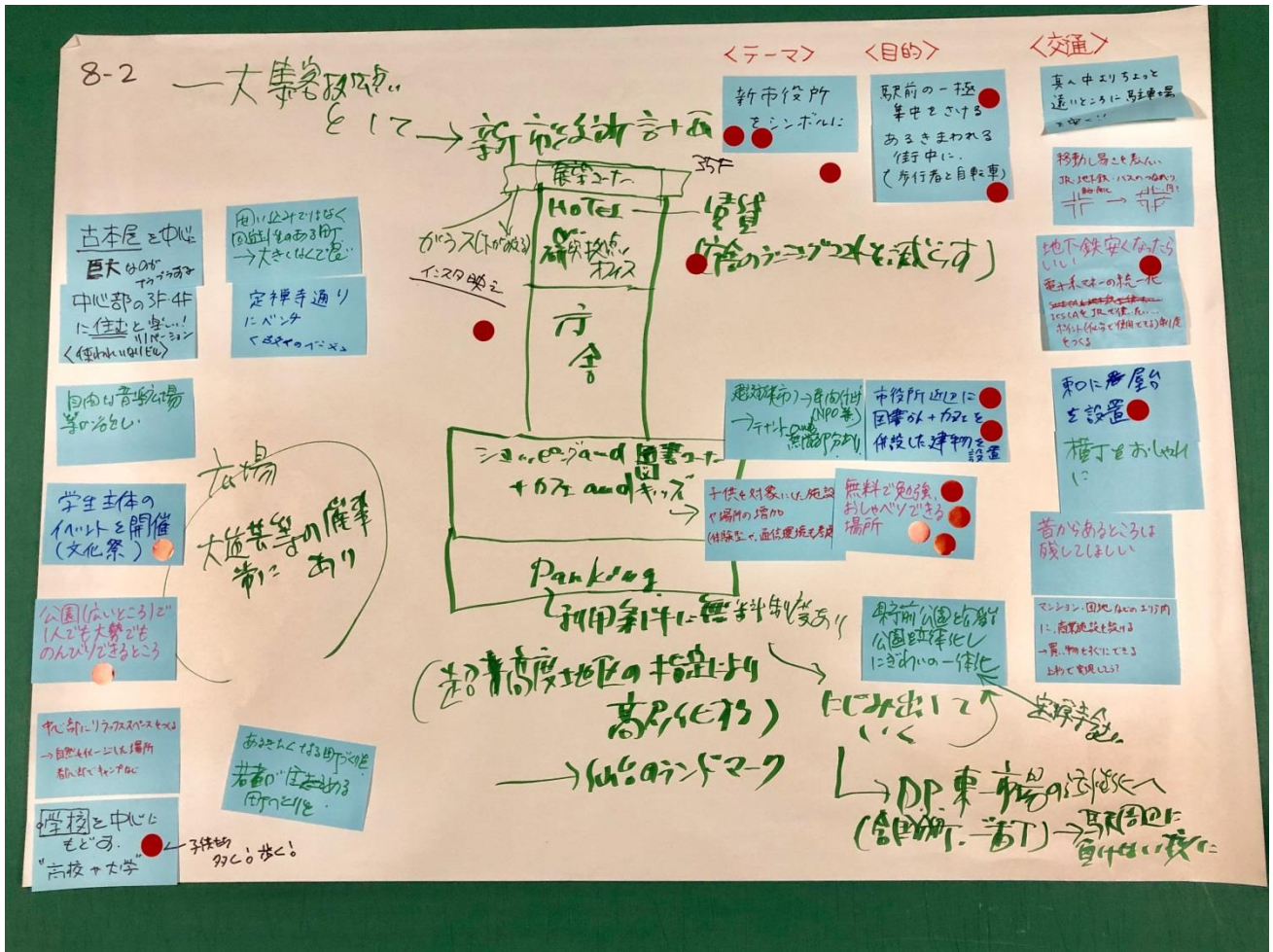
## ●仕事

- ・地価の補助
- ・人口をとどめておく
- ・若者を仙台に繋ぎ止めるもの  
（子育てしやすい環境）  
（大学を増やす）
- ・雇用環境を整える
- ・ベンチャー企業の支援
- ・巨大IT企業の誘致（本社機能）
- ・再就職のしやすさ
- ・継続的に収益出せるような

## ●番外編

- ・残したい！横丁
- ・西公園 地下鉄の活用
- ・夜の錦町公園
- ・広瀬川の活用
- ・荒町  
国際交流のできる町に
- ・本町  
クラフトの町

(テーブル2)



●テーマ

- ・新市役所をシンボルに

●目的

- ・駅前の一極集中をさける
- ・あるきまわれる街中に（歩行者と自転車）

●新市役所計画

- ・展望コーナー35階（ガラス、下が見える、インスタ映え）
- ・HOTEL、研究拠点、オフィス（賃貸で庁舎のランニングコストを減らす）
- ・庁舎
- ・ショッピング and 図書コーナー+カフェ and キッズ
- ・Parking～利用条件に無料制度あり
- ・（超高度地区の指定により高層化する）  
→仙台のランドマーク

## ●交通

- ・真ん中よりちょっと遠いところに駐車場を安く！
- ・移動し易さも考えたい
- ・地下鉄、JR、バスのつながり
- ・地下鉄安くなったらいい
- ・電子系マネーの統一化  
ICSCA を JR で使いたい…ポイント（仙台で使用できる）制度を作る
- ・東口に屋台を設置・横丁をおしゃれに
- ・昔からあるところは残してほしい
- ・マンション・団地などのエリア内に、商業施設を設ける  
→買い物もすぐにできる  
上杉で実現しそう？

## ●市役所周辺のまちづくり

- ・建設事業（市）→民間借上げ（NPO 等）→テナントと無償部分あり
- ・子供を対象とした施設場所の増加（体験型や、通信環境も考慮）
- ・市役所近辺に図書館＋カフェを併設した建物を設置
- ・無料で勉強、しゃべりできる 場所
- ・県庁前公園と勾当台公園を立体化しにぎわいの一体化
- ・古本屋を中心に巨大なのが（ブラブラする）
- ・中心部の 3F・4F に住むと楽しい！リノベーション＜使われないビル＞
- ・自由な音楽広場等が欲しい
- ・学生主体のイベントを開催（文化祭）
- ・公園（広いところ）で一人でも大勢でものんびりできるところ
- ・中心部にリラックスペースをつくる→自然をイメージした場所 都心部でキャンプなど
- ・子供たち 多く！歩く！→学校を中心に戻す “高校や大学”
- ・囲い込みではなく 回遊性のある町→大きくなって良い
- ・定禅寺通りにベンチ <故人のベンチ>
- ・歩きたくなる町づくりを 若者が住める町づくりを <広場>
- ・大道芸等の催事あり

(テーブル3)



●テーマ

「回遊型のまち」

●勾当台、市役所エリア

- ・勾当台公園一体化 (ビル移転)
- ・都市公園
- ・新市役所に展望スペース
- ・スケートリンク

●定禅寺通エリア

- ・自転車キックボード
- ・交通利便 ループバス
- ・自転車に優しいまち (駐輪場の充実)
- ・メディアテークの文化価値向上
- ・自転車規制
- ・土日の歩行者天国

- ・道路規制キツイ
- ・キックボード
- ・オープンカフェ
- ・ぶち抜いて全部公園！！

#### ●広瀬通エリア

- ・車が不要な暮し街（コンパクト City）
- ・自転車に優しいまち
- ・歩道橋撤去
- ・ハード直す

#### ●青葉通エリア

- ・「コンサートホール」2,000人規模～（新潟にはある！）
- ・Beer Picnic
- ・市立ミュージアム
- ・青葉城跡
- ・ロッククライミング
- ・青葉城跡へのケーブルカー

#### ●西公園、青葉山エリア

- ・西公園活用
- ・カフェ・スポーツ
- ・コンサートホール
- ・ガーデニング